

保小中で取り組みたいこと	(運動会)	・保小中で一緒に運動会 憧れ・責任感	■ #2
		・運動会 まずは保小中で一緒に！！（教育的な側面を大切にして、まずは保小中。段階的に地域との行事に広げていく。）	■ #1
		・体育祭と文化祭（今はない！）の両方を年内に！（行事がもっと欲しい）	◎#2
		・高校にあるような文化祭 理由：今のままだと、ぱっと終わってしまうから。楽しそう。	◎#2
		・体育大会（保・小・中） 学芸会（保・小・中）	■ #2
		・学習発表会の見学（合同学習発表会）	■ #2
		・（保）小中合同で学習発表会（地域学習を通して学んだことなど の発表を聞き、他の学年の学習を知る）	■ #2
		・合同学習発表会 お互いの発表を見合う	■ #1
		・学習発表会の見学 例えば、年長児が見にいける時間の確保 生活科や総合学習で学んだことを発表する姿を見たり、 生活発表会を例えば一年生がみたり (現在は、コロナで難しいですが…) 行事の交流	■ #1
		・保小中合同で、文化発表会を行う →観てくれる人が多い方が、 モチベーションにもなるし、刺激を受けて向上心アップにつながる	■ #2
(修学旅行)	・小中 作品発表交流	■ #1	
	・（保・小）授業、劇、合唱、合奏	■ #2	
	・体育集会的な活動を（保）小中の縦割り班で行う（体育レク）	■ #2	
	・行事や参加できる体験活動は、期待や見通しがもてるよう に参加していけたら…。	■ #2	
	・小中合同旅行 理由：修学旅行以外にも県外へ行きたい	◎#2	
	・中学校全員で、修学旅行 理由：楽しそう	◎#2	
	・参観日の時の保護者対応（こん談、時間）	■ #2	
	・部活動を増やしてほしい！	◎#2	
	・クラブ（1～6年の）を作ってみたらいいと思う。	○#2	
	・多様な集団で行う有効 清掃、クラブ活動	■ #2	
防災教育・ 防災訓練	・クラブ活動 一貫を考えると小→中つなげていけるとよい しかし、男女の問題、人数の問題入りたくない…など（課題がある）	■ #1	
	・保小中合同での防災訓練	■ #2	
	・保小中が合同で、防災訓練を行い、小学校高学年・中学生が保育園 児の手伝いをする。お互いの発達段階を知ることで、思いやりの 気持ちを育てる。	■ #1	
	・中学生から小学校高学年に向けて、小学校のうちにしてくれれば、 身に着けていればよかったことなど体験を交えての講話（座談会） → 中学生から小学生にむけて	■ #1	
	・防災については、子どもにとって重要である。学校施設の中で普段から防災のこと を学べる のは大切だと考えている。	※5	
	・園として防災を地域の方と一緒に取り組むのは少ない。みんなで一緒にできることとなれば 望ましい。	※5	
	・防災学習を学校でやっていくのは良いと思った。	※5	
保小中の学校運営 について	教職員間の 交流	・保育～中学校まで各年齢の育ちや大切にしているところを共有し 保→小→中へつながっていく。	■ #2
		・保 小子ども（年長児）の良さや特性をつなぐ 良かった支援をいかせるように いつでも聴きに行ける関係	■ #2
		・子どもの育ちの理解	■ #2
		・子どももそうだけど、先生もね！教職員の交流の場（研修以外でも、もっと仲良くなろう） 時間が問題…かも。	■ #2
		・児童・生徒理解：定例職員会、研修	■ #2
		・保育園児の様子を少しでも分かるように（情報共有）	■ #2
		・職員会等を保小中でどのように行うか？	■ #2
		・授業（交流）：中・小の教員の連携	■ #2
		・一日先生 保育所の先生に音楽や図工 教員が保育所へ → 互いの教育や成長を知る	■ #1
		・保↔小、小↔中での先生たちの授業交流	■ #2

保小中の学校運営について	教職員間の交流	・多校種の教員が授業を参観しやすくなる	■ #2
		・保小中で互いの教育や成長を知る機会（自由に授業参観をし、意見交流する）	■ #2
		・特別な支援が必要な生徒の情報の共有（家庭環境も含む）	■ #2
		・園児、児童、生徒の理解 SC・SSW・CPPとも家庭環境、支援のあり方⇒つなげる	■ #2
		・施設の共有だけで終わってしまう可能性がある。	■ #2
学校が社会と連携し行いたいこと	村外へ	・社会性 初めての場でもものおじせずに（守られていない場所へでかけさせることが大切）	■ #1
		・北川の中にとどまらない活動	■ #1
		・広がりをもっていく。村外の学校とつながってみる	■ #1
		・地域やオンラインだけでなく、近隣校とつながる	■ #1
		・児童生徒会交流会への参加	■ #1
		・村外の人と関わる機会（ICTなどを活用し、交流する。）	■ #1
		・村外での体験（本物を見る機会をふやす）→小学校高学年を中心に知的好奇心をはぐくむ。	■ #1
		・総合的な学習の時間で、村外の人に自分たちの活動を発表する機会をつくる。 → 自信をつけさせる。小も中も	■ #1
		・職場体験は村外に限定する。	■ #1
学校と地域が連携し行いたいこと	子どもの 地域参画	・子ども会	■ #1
		・学校以外での活動	■ #1
		・地域行事 ・マラソン ・ボランティア（地域の施設：ゆずの花） ・保育所（夏休み、お手伝い）	■ #2
		・ボランティア活動	■ #1
		・高齢者の方 交流（訪問）の	■ #1
	地域連携 地域協力	・地域の方との関わり 祭りなどで何か発表できる場を！！	■ #2
		・北川学（教科・行事）： 地域内外の方 一緒に活動 交渉	■ #1
		・北川学で地域(外)の方、働いている(生活)姿を見たり、思いを知り、 職業観を身につける。（あこがれる。いろいろな職を知る。）	■ #1
		・総合、その他の教科でも、地域人材を生かした授業でのつながり	■ #2
		・北川学で協力 連携	■ #2
行事で	行事で	・いろいろな体験活動 ☆人との関わりをもっと！ 食育、昔遊び、総合、生活科	■ #2
		・地域の方との関わり 昔ながらの遊びや物づくり 高齢者の名人に教えてもらう学習	■ #2
		・（地域と一体の図書館で）読み聞かせ 地域ボランティア	■ #2
		・延長保育の時間に、地域ボランティアの方と一緒に遊ぶ中で いろんな昔遊びを教えてもらえたから いろいろな方と触れ合う機会	■ #2
		・登下校だけでなく、放課後の子ども達の見守りに協力してもらう。 ・運動場で ・放課後子ども教室で	■ #2
		・こどもたちのよりよい環境のため みんなが協力することが必要	◇#1
		・運動会 保・小・中と村民 一緒にすれば	◇#1
		・運動会を村民運動会と一緒にやつたらにぎやかでいいと思う	◇#1
		・運動会 まずは保小中で一緒に！！（教育的な側面を大切にして、 まずは保小中。段階的に地域との行事に広げていく。）	■ #1
生き方教育	生き方教育	・北川村にあるいろいろな仕事 モネ、温泉、建設 etc… 学校の時代にいろいろな職業体験をする	◇#1
		・幸せに生きている大人を見ながら、子どもたちは夢をもつと思う	◇#1
		・大人がチャレンジする村 子どもたちにも夢を	◇#1
		・将来の生き方の夢を持てる学びを取り入れられたら 夢があれば、やる気スイッチが入る！	◇#1
		・北川村で働いて家庭をもてるようになるための基盤づくり (農業体験とかイベントを毎年行って、一次産業に興味を持ってもらう。) の	◇#1
		・子ども達に農業体験をたくさんして欲しい。ゆず、お米など 一連の農業体験を！！	◇#1
		・学校教育の現場で農業体験のカリキュラムを入れていく	◇#1
		・（例）1年生でつぎ木をうえる → 6年生柚子の収穫など ポテンシャルの高い農家さんの指導をけてみる	◇#1
		・残したい事 ・ゆずを中心とした第一次産業	◇#1
		・「北川村」という名前を広めるための存在	◇#1
		・Uターンしてくれるような工夫	◇#1
		・働くところがある。（産業）	◇#1
		・住むところがある。	◇#1
		・家をたてる。（土地）	◇#1

学校と地域が連携し 行いたいこと	情報共有	・地域の人・もの・ことについて、もっと知りたい ・コーディネーターがいるといい（学校と地域）　　・資料	◇#1
		・統合や行事等で協力してくれる人・内容の人材バンクリストの作成	■ #2
		・学校行事をもっと地域に発信したらいいと思う。回覧板とかで（今はコロナで出来ないが）	◇#1
		・広報が家に配られること。	◇#1
		・（今は休止中ですが）英会話教室など「やっているよ！」ということを もっと宣伝してほしかった。伝わりきれていない。	◇#1
	施設運営	・図書館 勉強ができる。地域の人も来れる。 ミーティングルーム：休日でも子どもが集まって何かを計画したり	■ #1
		・地域食堂 給食を地域の人も食べられるように 食育を地域に	■ #1
教育委員会に 支援してほしいこと	保小中	・保小中一体を行ううえでは、教員の交流も必要 プラスαの教員数が必要	■ #2
		・行事等だけでなく、日常を見に来てもらい、子どもの様子や生活を見たうえで、改善していくべきところを職員と共有する。	■ #2
	少人数対応	・中学の人数減り、教員も減り、専門の先生に教えてもらえないくなる	■ #2
		・学級の人数を維持して、教育効果を維持したい 保小中一体 → 広域中学校の議論	■ #2
	子ども支援	・不登校、学校にこられない生徒が学校外で参加できる場所作りと 担当してくれる人員の確保（教育研究所的な場所）	■ #2
		・北川村に！（中芸は…）跡：加領郷、田野保育、米ヶ岡	■ #2
	運営支援	・（図書館設置の場合）図書館司書を雇う	■ #2
		・学校環境整備 草刈り等 → 地域ボランティア定期的に	■ #2
	村外連携	・村外の中学生と関わる機会を作る 新しい関係をつくる力	■ #2
		・村外の人に自分たちの活動を発表する機会をつくる	■ #2
		・他の市町村、県とのつながり（修学旅行、視察）	■ #2
		・地域内外の人と関わる時のツール（使い方も） 小中などではそろっているが、関わりたくても機器がなかったり 使い方がわからなかつたり…。直接対面できるときはいいが…。	■ #2
		・村外から来た人とのつながりは	■ #2
		・まず北川村フィールドワーク ・特産品、ゆずの収穫 ・村外から来た人からの情報も得る	■ #2
		・地域の伝統、ゆず等の学習	■ #2
		・職場体験	■ #2
		・企業との連携	■ #2
		・海外（県外）派遣	■ #2

学校運営について (子どもの思い)	休み時間	・普通の休み時間は15分ほしい（足りない）	◎#2
		・お昼休み40分（休める時間がもっとほしい）	◎#2
		・休み時間をもう少し長くしてほしい。（昼休みは例外）	◎#2
		・休み時間にみんなで遊んだり、好きなことをしたい	◎#2
		・自分の時間を自由に使える	◎#2
	制服	・学校の制服がほしい。	○#2
		・月の特定の日だけ私服登校OK 理由：特になし	○#2
		・制服じゃなくて私服にしてほしい	○#2
		・パジャマでいきたい	○#2
	その他	・宿題をなくしてほしい	○#2
		・テストをなくしていいほしい	○#2
		・学校にタクシーで行きたい。	○#2
		・めんきょがいらない車に、乗りはどうだい。	○#2

4. 北川村の「たからもの」：モノ・ヒト・トコロ・コト（文化・活動）

宝物（魅力・資源）	村	・思い出の場所（北川の人の）	◇#1
	ゆず	・北川村の柚子 ・ゆず ・ゆず（の取り組み） ・北川村の好きなところ どこに行っても柚子の木が見える ・日本一の柚子園 ・ゆずのおすしがおいしい ・秋 ゆず収穫時の JAあたりの ゆずの香り	◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1
	自然	・自然 ・自然 ・豊かな自然 ・豊かな自然 ・豊かな自然があるところ ・自然が豊かで景色が美しい ・自然がたくさんあるところ ・自然がいっぱい ・美しい自然 山 川 ・豊かな自然 それを生かしたモネの庭 ・山 川 自然にあふれているところ ウォーキングしたら最高です。 ・汚れていない自然が当たり前のように豊かにある ・山と海が近い ・山も川もあって、海も近い。 ・川がある。海に近い ・川遊びスポット、ホタルのスポット 沢山！！	◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1
	遊び	・川で遊べる ・巻ノふち 川遊びができる環境	◇#1 ◇#1
	自然と暮らし	・自然と共に生きている（知恵・工夫） ・のどかで、鳥の声がよく聞こえる。カエルとか。カブトムシも飛んでくる！ 自然が身近 ・豊かな自然（ほうねんえびのいる田んぼ、お宮前の水路 どじょう） ・実生のゆず ・自然がいっぱい！！ ・秋の柚子 黄色くなる いいにおい ・田んぼの風景 ・川（カニ、あゆなど） ・季節を常に感じられる！ ・山菜 ・鮎 ・梅仕事 ・田植え モネの庭 ・ゆず ・夜がいい 季節を感じる ・時間の流れがゆったりして、気持ちが落ち着く ・自然がいっぱい。季節の音（虫、鳥、風） ・においがあること（風、土、草、雨） ・コロナでも蜜にならずに、自然遊びができる！	◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1
	祭り	・お弓祭 伝統 ・お弓祭り ・地域ごとの行事 ・どんど焼き ・地域行事をのこす 神祭（おみこし等） ・お祭りが元気がなくなっている。昔はもっとぎやかだった。	◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1
	文化・遺構	・森林鉄道がある ・森林鉄道 遺構 ・天然林（島の宮 木積の宮 馬路村 宗ノ上の5km川上など） ・まがいぶつ（4/8が北川村にある） ・木積焼 慎太郎窯 北川村の文化の拠点の一つだ（った）と本気で思う。	◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1
	名所	・モネの庭 フランスとの交流 外とつながろうとする心 ・モネの庭 モネのスイレン レストランのメニュー ・モネの庭 ・モネの庭 北川温泉	◇#1 ◇#1 ◇#1 ◇#1

宝物（魅力・資源）	有名なヒト	・中岡慎太郎先生	◇#1
		・中岡慎太郎の志	◇#1
		・慎太郎（館）	◇#1
		・いろんな分野の達人がいる。・りんてつ・ゆず・田舎寿司・獣・木積焼き漬物	◇#1
		・地域の人の特技をいかした活動でいきいき	◇#1
食	食	・昔ながらのごはん・田舎寿司・かんばもち・野草	◇#1
		・昔ながらのごはん ← 昔ながらの大切な事を失くさず、継承していってほしい。	◇#1
		・もちつき 食べ物 柚子の入った物・魚・鹿・猪	◇#1
		・おいしいラーメン・卵・田舎ずし（サニーマートでいつも思う。）	◇#1
		・食堂・ゆず・給食	◇#1
		・手つかずの自然	◇#1
		・農家のポテンシャルの高さ	◇#1
		・ゆず産業・ゆず以外にも生産物がたくさんある	◇#1
		・ゆず以外・みょうが・米・ブルーベリー・わさび・トマト・ピーマン	◇#1
		・農産物がたくさんある	
		・ジビエ美味しい 山菜美味しい	◇#1
		・自然・農業・温泉・食堂・かんばもち	◇#1
		・道の駅みたいなところがあれば、特産物などを買える。村外からもわざわざ来ると思う。	◇#1
		・いろんなお店	◇#1
		・北川村の農作物やジビエ、魚などを使った料理教室がほしい。	◇#1
		・子供	◇#1
		・北川村の子供 人なつこい所 幸せそうな顔	◇#1
		・素直で元気な子ども達	◇#1
		・素直な子が多い 協力し合える	◇#1
村民こども	村民こども	・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。	※3
		・小中学校の生徒たちの素朴なところをのばしてやってほしい。	◇#1
		・子供たちが真面目で一生懸命	◇#1
		・子どもたち割とまじめ。協力し合う。（高校で北川の子がほめられることがよくある。）	◇#1
		・都会の子たちが忘れてしまった素直さ、子どもらしさ	◇#1
		・小中学生が北川村に愛着をもっている。	◇#1
		・子どもたち 村のことが大好き	◇#1
		・子どもたちが北川村が好き 北川愛が強い！！	◇#1
		・子供達が北川村のこと（ゆずや中岡慎太郎など）をよく学んでいて誇りに思っている。	◇#1
		・人 みんな優しい おだやかで…	◇#1
		・県外に長くいて帰って来た時にも、ふつうに自然にあたたかく	◇#1
		・迎え入れてもらつたちうような人と人とのつながり	
		・ジイさん バアさんが多い	◇#1
		・おばちゃんのやさしいところ でもいざという時消極的になるところがある	◇#1
村民大人	村民大人	・地域の人たちが優しい。よく関わってくれる。	◇#1
		・あたり前に知らない人同士でもあいさつしている	◇#1
		・やさしい人柄 助け合い	◇#1
		・人がいい。助け合いの心がある。	◇#1
		・車がパンクしてもみんなが助けてくれる	◇#1
		・村のためにがんばっている方 多い 個人 村 etc	◇#1
		・顔の見えるコミュニティの大きさ→子どもたちが安心して暮らせそう	◇#1
		・子供達と地域の人々の交流があり、地域で見守られていて、安心する。	◇#2
		・安心して暮らせるところです	◇#1
		・安心感 村に帰ってくるとホッとしています。	◇#1
地域	地域	・全員の顔がわかる	◇#1
		・地域住民同士の距離の近さ	◇#1
		・近所づきあいがある	◇#1
		・人同士の助け合いが多いし、素直な人柄	◇#1

宝物（魅力・資源）	立地の条件	・どこでも車で行けて便利（駐車場も完備）	◇#1
		・県内中心地からめちゃめちゃ遠いわけではない。 (だから高知市・南国市まで通学する高校生が結構いるかも。)	◇#1
		・生活するのに便利 銀行、役場、お店、学校、コンパクトに集まっている	◇#1
		・国道に近いので便利	◇#1
		・飛行場が近い わりと交通が便利	◇#1
		・わりと田舎！！だけど住んでみたら、それなりに不便なく生活できるところ。	◇#1
		・北川村には信号機がない（住民のマナーがよい）	◇#1
宝物（活動）	学校	・学校が楽しいヒケツ ずっと一緒にいる時間が長くいろいろ乗り越え、家族のような関係に	◇#1
		・「人間関係」この村で経験できる財産	◇#1
		・「楽しい！っていえる学校が素敵ですね！」	◇#1
		・あいさつ	◇#1
		・こどもがあいさつできる	◇#1
		・子供たちみんなアイサツができる！ビックリしました。	◇#1
		・なぜか北川の子は水泳が得意	◇#1
		・そうじ◎	◇#1
		・学校 ・ランチルーム給食 ・手話	◇#1
		・皆で食べる給食を続けて行きたい。（昔からだった）	◇#1
		・上級生がお茶の用意をし、お世話する。上級生意識が育つ	◇#1
		・手話 人権の学習	◇#1
		・手話の取り組み	◇#1
		・保育所 体験が多い	◇#1
少人数よさ	保育所	・保育所 食育がしっかりしている	◇#1
		・いくつになっても続いている保育園の先生方とのつながり	◇#1
		・保育から学校へのつなぎが手厚い	◇#1
		・学校、保育所 少人数なのでみんなの名前を知っている みんなの良いところをしっている。	◇#1
		・少人数であるので、みんなのことをよくしっている環境。	■ #1
		・小学校からずっと同じメンバーで 過ごしている	■ #1
		・人数が少ないからこそ縦の関係がすごくいい！！（学校）	◇#1
		・少ない子供の数（きめ細かいよさ）	◇#1
		・子供の人数が少ないとことで、一人一人に目がいき届きやすい。みんな知っている。	◇#1
		・保育園や小学校での社会性の育成、基礎基本の徹底。授業の受け方 目上の人との関わり方、学習の仕方、掃除への取り組み方等【中】	■ #1
教育目標		・小中でやるべきことをやりきらせていく教育 小学校のときから、やりきるように鍛えられている。	■ #1
		・保育園や小学校のときの、一生懸命やることの価値を実感させる、 教育【中】	■ #1
		・保育所での学びの芽生えを大切にする取り組み → 学校での学びへとつながっている。【保】	■ #1
		・あいさつを始めとするの運営委員会の取り組み	■ #1
		・少人数なので、いろんなことを自分も参加しやらなければいけない場面が多い。【中】	■ #1
		・保育園の行事への参加（もちつき、節分）	■ #1
		・音楽集会、行事	■ #1
行事取り組み		・小中合同の行事。【中】（小中合同運動会）	■ #1
		・運動会（小中合同←保育参加） 地域の人も	■ #1
		・運動会、敬老会	■ #1
		・運動会での全学年の親子競技	◇#1
		・映像コンテストや新聞づくりコンクールの受賞が世間に認められたことは、学校の先生や 子どもたちの努力でできたことではあるが、現状の施設の中でもできたことである。 今の取り組みが良いとするならば、新しい学校をつくることでその取り組みが、さらに効率 的に、より良いものにならないといけないと思っており、さらなる取り組みに期待したい。	※3
		・自分の学校をこうしたい ワークショップ	■ #1
学習取り組み 保小中一体		・保育園児との一組の活動 学校たんけん：小学生が園児を案内	■ #1
		・異学年の活動が多い。（掃除、体育）	■ #1
		水泳：5年生と園児→入学時に6年生と1年生	■ #1
		・部活動への小学生の参加	■ #1

宝物（活動）	学習取り組み 北川学 地域交流	・北川村の学校のよさ 地域学習に力をいれているところ。他にこんな学校ないのでは？	◇#1
		・総合的な学習	■ #1
		・北川学 地域との交流	■ #1
		・北川学は地域資源を活用しながら子ども達が探究的な学習を深めており、聞いたり 伝えたり 表現したりする力も身についてきている。この活動を行うに当たっては、地域の方々の協力を得て活動が成り立っており、大変感謝している。また、オンライン 英会話では、保育から中学校までネイティブの方との会話を通してスピーキングやヒアリングの力を高めている。今後も特色ある取組として継続して取り組んでいきたい。	※1
		・北川学を本格的に初めて3年目になるが、いわゆる地域学としての学びの他、企業と連携した様々な活動等を通して、北川村ならではの学びの有り様を構築していきたい。	※3
		・ここ数年、保小中の連携は深まり、学校が活性化していると理解している。それぞれの先生が現場に出向いていただいて交流も進んでいる。北川学においても、地域住民も喜び、子どもたちも元気になっているという状態だ。	※3
		・生活、総合の時間で地域とつながり	■ #1
		・小中の総合の時間を通して、地域の方の思いや願いを聞く。【中】	■ #1
		・地域行事への参加。【中】	■ #1
		・小中のこども 地域のために活動（小中）	◇#1
地域へ出る 活動		・子どもがあいさつしてくれるようになった。	◇#1
		・子どもたちの歌声が聞こえてきてよかった	◇#1
地域の方の 協力		・学校行事に保護者地域の協力	◇#1
		・子どもたち（北川小中・みどり保育所） 村の人々がいつも見守ってくれている 協力して下さる	◇#1
教育環境		・自然に囲まれていて、生き物とふれられる環境。	■ #1
		・保護者の方も教育熱心。	■ #1
		・地域の人と関わる機会が多くある。	■ #1
		・地域の人にも大切にされてきた環境。	■ #1
		・周りに嫌なことを言う人がいない。	■ #1

5. 村民が感じる北川村の課題

地域の課題と取組み	活性化	・活気を取り戻したい	◇#1
少子化		・子どもが少ない 子どもが少なくなる	◇#1
		・子供の人数が減っている。	◇#1
		・子どもの人数が減ってきてるので、もう少し増やしたい。	◇#1
		・子どもが増えるといいな	◇#1
		・やっぱり子どもが多くなってほしい。	◇#1
		・子供達が少ない。（若者を増す）	◇#1
		・家族手当を増す	◇#1
		・18才まで村が見る 生めやふやせがんばって	◇#1
定住		・若人が少ない → 生徒数の確保がむずかしい	◇#1
		・若人が少ない。	◇#1
		・子育てヨシ！お年寄りも安心。しかし、若い人にとって魅力はあるのか？	◇#1
道路		・夜の町の中 通り 学校の外が街灯がなくてこわいので、明るくなればいいなと思う。	◇#1
		・道路がほしい	◇#1
		・道路がくずれる事が多い	◇#1
就労支援		・仕事がかぎられる。	◇#1
		・仕事が少ない。	◇#1
		・仕事場。仕事がない	◇#1
		・自分の好きな事業ができる	◇#1
		・人がこの村の内で仕事をもって安心して暮らせることで、新しい若者も増える	◇#1
		・企業誘致等をしたら、人口も増えると思う（柚子だけじゃ難しい）	◇#1
		・サラリーマン農家を探す	◇#1
		・人口が下がりつづけている。→特徴を生かし切れていいないので？	◇#1
移住支援		・産業の現実と教育の現場のカベを取り払って、移住者をもっと呼び込む	◇#1
		・キャンペーンを打ち出すべき	
		・子供を増やすには移住者を増やすことだと思う。	◇#1
住宅政策		・子どもが少ない。→ 柚子や自然を通した体験で交流 → あわよくば移住してもらう	◇#1
		・移住したい人、移住した人が、なかなか住むところが決まらず途方にくれた。 受け入れ体制の強化を！	◇#1
		・空き家をどうする	◇#1
		・住む家がなかなかない。	◇#1
		・住める空き家が、家がない。移住希望者がいるのに、住む所がない。	◇#1
		・空き家が少ない。家を書いたらても見つからない…。	◇#1

6. 複合化、PPP/PFIにむけて

施設の複合化	イメージ	・（複合化のイメージ）複合というと、1つ1つの施設を同じ施設に入れるとイメージしがちであるが、パレットに色んな色が混ざるように保小中の施設を混ぜることで北川村色ができるようになるのが今回目指す複合化と思っている。例えば、技術室の横で、村の方々が日曜大工をやっているような状況がいいのでは。	※2
学びを軸に	・人口が減っていく中、全ての学級で複式学級になると、あまり良い印象を持っていない人もいる中で、その対応としてICTを活用して他の学校の子どもたちと繋がって、複式学級特有の状況を和らげていくことなどが求められる。子どもたちの教育を本当に支援していく空間を作ってもらいたいし、地域から受け入れられるエリアであり、保育や学校であるというような構想をとりまとめていただくことを期待している。	※3	
	・学びの保証というのが当初のスタートだったと考えている。学びがしっかりとできる施設が基本中の基本だと考えている。その中で、コミュニティスクールを標榜していく中で、病院や診療所やカフェもあってもいいが、まずは子どもたちが安心していられる場所であってほしいし、学びが確立される空間を作ってほしい。	※4	
地域交流のあり方	・小規模校では、地域との繋がりが強くて、その地域の活動が伝統的になっていたりしている事例は多い。一人の子どもに関わる地域の方、大人の数は都市部よりも多いのではないか。	※3	
	・子どもたちの特性を踏まえて、地域の方に開かれた交流施設をつくっていく方向性は、現状の子どもたちの課題を解決するに向いている。	※6	
	・これまで学校というのは入りづらいイメージがあったが、外部と交流できるようになると親近感もわき、地域でも子どもに声をかけやすくなる。	※6	
	・大人との関わりというところでは、例えば英会話にしても、英会話できる環境を大人の学び直しや、大人が子どもと関わりたいことを実現できる環境など、子どもたちの学び場に大人も一緒に学べる生涯学習の場といった意味合いで再構築していくというのは大変重要なことではないか。	※7	
	・子ども達の学びを考えたときに、必ずしも地域の方たちといつも触れ合っていることは適切ではないこともあります、空間構成については追って示していきたいし、メリハリを効かせた空間を整理して提案していきたい。基本計画を踏まえて、設計者のイメージが膨らむようなものを作っていてたらと思っている。	※5	
地域共用使い合い	・学校を拠点にして交流することを考えたとき、交流施設があるというよりは、家庭科室とランチルームみたいな場所が放課後になるとフードラボになって村の方々も来ることができたり、田舎寿司のような郷土料理をつくるところに子どもも来ていよいよとか、また、図工室や技術室のような設備がある場所についても、ファブラボみたいに3Dプリンターなどデジタル系のものとかが置かれていることで村の方々も使えるようにするなどが考えられる。同じように、ミュージックラボとか、サイエンスラボ、スポーツラボなど学校全体が村のラボになっていくこともできるのではないかと考えている。大きな学校だと学校で使われる時間が多くなってしまうのでなかなか難しいが、少ない人数であればやりやすいと思っている。村の大人たちも学ぶ場所であるという考え方で特別教室を活用していくことは、PFIを検討し民間事業者に運営を任せるのであれば可能ではないか。	※4	
	・学校の地域開放について、地域の人が使っているときは子ども達が使えないとか子ども達が使っているときは地域が使えないっていうイメージを持たれがちだが、それも空間の作り方によっては、あっちでおじいちゃんがやっているけど、こっちでは授業をやっているとかっていうようなこともあります。『あの人はいつも何を作っているのだろう』みたいなことから、子どもたちが自然と交流して行く環境っていうのは作っていけると思うので、そのあたりの可能性を広げていけるといい。	※4	
	・教育施設でも、使っていない場合は単なる箱であるため、そういった使っていない時間は自由に使える仕組みを作ることは、これから複合化のあり方のひとつなのだと思う。	※4	
村民会館との複合化	・学校と村民会館の合築は大賛成である。地域の中で暮らしている中で、特に調理室はよく使うと思うが、別々でなくとも学校にあれば十分足りるのではないかという気持ちもある。交流と言う観点からも同じような発想で良いのではないか。	※5	
	・同じような施設は不要だと思っていたが、村民会館を学校に複合化させるのは良い案だと思う。ただ、村民会館が野友地区の災害避難拠点になっているので問題ないのかは気になるところである。（災害拠点づくりの内容をうけて）素晴らしい考えだと思う。	※5	
	・公共施設マネジメントの考え方で、アセットマネジメント（※実際の所有者に代わって管理・運用を行う業務）の観点からも良いと考えている。大人と子どもの活動時間は異なるので、多目的ルームが使えそうであるし学校と村民会館と一緒にするのは私も良い考えだ。	※5	

施設の複合化	村民会館との複合化から生まれるイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 今も北川村文化祭として村民会館で長い期間展示をしているが、そういうのも学校空間の一角で行っていくというのも1つあるのではないか。その期間が、例えば、子供たちの様子を見る授業参観の期間になるということもある。あるいはイベントや発表会みたいなものを学校の体育館を使い、子供たちが運営をサポートする側になって、例えばフランクフルトを焼いてお爺ちゃんお婆ちゃんに提供する等の機会にも使っていける可能性が広がっていく。教育の方にも大変効果が出てくると考えている。特に、北川村の課題になっている新しいチャレンジあるいは自分でいろんな機会をつくっていける場面も増えていく学校になっていくのではないかということを感じている。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> 以前、美術館を検討したときには、美術館は廊下でいいのではという考えもあった。そういう意味では、学校が美術館になっていって、ビエンナーレやトリエンナーレが行われていくのは非常に面白いと思う。 	
		<ul style="list-style-type: none"> モネの庭もあるので、アートと絡めた取り組みもできるのではないかと考えている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> これまで子どもたちが作成していったものを保管するなど博物館的な機能を附加することも考えている。 	
PPP/PFI	あり方	<ul style="list-style-type: none"> 教育施設は収益がなかなか見込めないと考えている。教育環境を安定して保ちつつ、北川村オリジナルなPFIのかたちが検討されていると思っている。 経済的資産というよりも、文化的資産となることを大切にすべきである。 	※2 ※7
		<ul style="list-style-type: none"> 北川村の基本計画検討委員会について、私はすごいと思っていて、多分民間に公募してもこれ以上のアイデアが出てくる民間企業はそんなにないと思う。だから、今後公募していろんな施設を公民連携で整備を行うにしても、通常のやり方で公共が発注して民間が提案を出してから、提案の中から選ぶというやり方はどうもうまくいかないなという認識をすごく持っている。民間の方々と公共だけでなく、住民の方々などいろんな人が集まってきてみんなで作り上げるようなプロセスが大切だと思う。今までの公民連携と違うスキームを考えなきゃいけないと思ってちょっと悩ましくなっている。今日参考になったのは、子供の創作に使える点であり、本を子供達が作る教育など面白いことができると感じた。 	※5
PPP/PFI（可能性）	複合化の機能	<ul style="list-style-type: none"> PFIについては、民間企業からすると収入が得られることが重要になるので制約がない方が良い。京都の御池中学校の事例を見れば、カフェレストラン、イタリアンレストラン、高齢者施設や保育園もあって乳児園も様々ある。そういう事例を踏まえれば難しくはない。 	※4
	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設は必ずニーズが出てくることがあるところもあるので、そういう方々と異年齢の交流が生まれるということも良いことであると思う。また、重度の障害のあるお子さんのための学校、例えば特別な支援が必要な肢体不自由のお子さんの学校となると、おそらく県内からも集まってくると思う。その子どもたちが学んでいる姿を子どもたちが見聞きしながら、ともに学ぶ姿がみられる。これら高齢者施設等の併設の事例はたくさんあると思うので、それが北川村全体の仕組み作りの中でマッチするかどうかは検討されたらしい。 	※7
PPP/PFI（可能性）	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 地域の総合スポーツ施設となると、プールを温水化するなどスペックが高くなると思うので、それが必要かは議論をする必要がある。複合化の事例で言えば、グラウンドやプールなどの施設のメンテナンスや維持管理を民間の運営会社に任せることができるので、学校側の負担が減り、学校側にメリットがあると聞いている。民間にどこまで任せるのか次第であるが、両者にとってWIN-WINになるような選択にもなりうると思った。 	※7
		<ul style="list-style-type: none"> 統合型スポーツクラブに関して、施設の話から入っているが、別に施設がどうこうではなくプールも体育館も学校ごとにあるのがおかしいという話の中で、サークル活動にしても、学校単位でやっているものを統合型スポーツクラブに全てまとめて統一していきましょうということである。また、そこには本当のプロの専門の指導者がいて、先生達の労力を減らすという大きなメリットもある。全国には3000以上の統合型スポーツクラブがあって経営がうまくいっているのは、そのうちの一割300ぐらいって言われている。北川村のような1000人規模の自治体であれば、施設そのものを学校の施設ではなくて統合型スポーツクラブの施設として作って、その施設を学校が使う形も良いのではないかと考えており、統合型スポーツクラブの理念をきちんとつくっていくことも大事だと思っている。 	※7
	芝・運営	<ul style="list-style-type: none"> 芝生については、目的が何か次第である。都市部では緑化率を上げることや砂埃をなくすために芝生化を進めていることが多い。一方で、人工芝は見た目は同じであるが、転んだりした時の摩擦熱などで怪我をする場合もあるので、様々な側面があることを踏まえて検討してもらいたい。また、日本では維持管理は大変であるはあるが、芝生を維持管理することで地域と関わりを作っていくなど、それを通して何ができるのかを考えしていくのが良いと思う。 	※7

		<ul style="list-style-type: none"> 芝生は何の目的のために実施したいのかを検討するべきである。昔は、芝生は夢の また 夢であったが、芝生で子どもを裸足で走り回らせたいとか、あるいは熱中症防止対策でやりたいとか、子どもの健康のためにやりたいなど、目的をしっかりと定めて方向性を見出していくないと、単に維持管理が面倒だから止めておきましょうっていうことにつながる。 	※7
	放課後	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育も一体的に考えていかないといけないと考えている。 現在、放課後こども教室においては 20 名ほどが参加している。また、学力ステップアップ教室も村民会館で開催していて、そちらにも自分の学年の対象日に児童が参加している。子ども会の卓球やバレーに所属している子は、週 2 ~ 3 回体育館の方で活動しており、これが放課後の小学生の過ごし方になる。中学生公営塾は 7 月から夜間に開催している。活動などのコーディネーターについては配置に向けて検討していく。 放課後に子どもたちが宿題をしたりするような個室などもあると良いのではないか。 	※3 ※3 ※6
PPP/PFI	運営管理	<ul style="list-style-type: none"> 私の 50 年前の和歌山県での経験であるが、個人図書館の取り組み（大人の生き様 や年上の 人間が生徒に話をするなど）は意味があったと感じている。そういった取り組みを企画・ 運営するコーディネーターの存在は重要である。 管理の面は検討しないといけないが、そういった環境（地域共用）は良いと思う。 誰でも気軽に立ち寄れる場としての学校については、管理面も含めて考えて精査していかないと良い関係にはならない。 	※3 ※6 ※7
PPP/PFI	運営管理	<ul style="list-style-type: none"> 特別教室の住民利用を考える際に、日中は貸館により様々な教室をそこで行いたいという 話も出ているが、学校と住民参加の調整をきちんとコーディネートできる人の常駐という ものは大事になってくる。ソフトのマネジメントが大変重要になってくる中で、どういう 運営体制を組んでいくのかは PPP も関連してくる内容になると 考えており、この辺りを 精査して行くことが今後大切になってくると考えている。 	※5
PPP/PFI	既存施設 村民会館 の機能	<ul style="list-style-type: none"> 現在、教育委員会の事務局が村民会館に入っているので、これをどう考えていくかという ことが 1 つ重要なポイントになる。また、その時役場をどう考えていくのか ということにも 関わってくる内容なのではないかと思っている。 村民会館にある教育委員会についてであるが、役場自体は耐震補強もしているので、立て 直すなどはもったいない話である。ただ、役場（施設）の機能の見直しについては現在 検討事項に入っており、教育委員会の場所についても平行して検討していきたい。 	※5 ※5
今後むけての 検討課題課題	共考 共創	<ul style="list-style-type: none"> そもそも村として一貫校化することや複合化をするのは、手段であって、目的があると理解 している。その目的をみなさんと共有していくことが重要であると理解している。 指針と 基本理念の関連性についても、もう少し分かりやすく説明をしては。 どうしても難しい話をしていかなければならない中で、こういう遊び心を持ってみんなが 楽しんでいく環境を考え、子どもたちがこの村に魅力を持ってもらいい、大人の姿を見て自分 もこういうことをやってみようと思ってもらうことが大切なのではないか。 保小中ひとつずつ しかない北川村では、一つこれを成し遂げたならこの村は変わるという 重みもあるのかもしれないけども、逆に一つでいいのだから、もっと楽しく大人も楽し く気軽に考えていくような基本計画書であってほしいと願っている。 	※6 ※7 ※7 ※7
		<ul style="list-style-type: none"> 北川村の基本計画検討委員会について、私はすごいと思っていて、多分民間に公募しても これ以上のアイデアが出てくる民間企業はそんなにないと思う。だから、今後公募して いろんな施設を公民連携で整備を行うにしても、通常のやり方で公共が発注して民間が 提案を出してから、提案の中から選ぶというやり方ではどうもうまくいかないなという 認識をすごく持っている。民間の方々と公共だけでなく、住民の方々などいろんな人が 集まってきてみんなで作り上げるようなプロセスが大切だと思う。今までの公民連携と 違うスキームを考えなきゃいけないと思ってちょっと 悩ましくなっている。今日参考に なったのは、子供の創作に使える点であり、本を 子供達が作る教育など面白いことができると感じた。 	※5
	視察の 必要性	<ul style="list-style-type: none"> 保育所を一緒にすることの意味についてご発言があったが、今後一貫校や 複合化に舵を 切っていく場合は、全国で一貫校化などの事例がたくさんあるので、そういった事例も 踏まえて検討していければと思う。 教育の内容について議論をして行く際に現場の先生方が豊かにそのイメージが持 てるのか はすごく大事だと考えている。県内で言うと、例えば香美市大宮小学校は国際バカロレア 教育を導入し、特色ある教育を行っているので、異動のある先生方 がそういった特色のある 学校に異動した際に、どう向き合えているのかといったことが学べるのではないか。 そこでは、もうすでに机が四角ではなく台形の形が使われていて、廊下との間の壁がなく オープンスペースがある状況だった。そういうものを見聞きしてくるとイメージもより豊か になって議論が深まっていくと感じた。 	※6 ※6

今後むけての検討課題	教育についての具体化深化	・北川村特有のここで自分の人生捨てても子どもたちをここで育てたいと思うような教育というは一体何なのか という議論をするべきではないか。もう少し先鋭的な議論を行って、そこから導き出されるべき建物っていうのは何かを考えたい。学校を立てて改築すると40年先 50年先の話なので、議論を深めたほうがいいのではないかと思っている。	※6
		・今の学習指導要領がはやくも次の改訂を考えしていく時期に来ていて、今建物を考えたとしてもできあがるのは数年後であれば、数年間のギャップが出て、設備も新しいものが出てくる可能性もある。次の教育と北川村の教育がマッチしているのか、が重要。	※7
		・子どもって非常に大変で忙しいだろうなって言うのがよくわかった。我々の子どもの頃は、大人のいないところに行きたくなかった。いろんなことをやらされるという思いがあったが、今は大人の人たちが自分たちを守ってくれてなんかいいことをやってくれるんだっていう感覚をもっている。昔は自分が子供の頃は1クラス 55人教室で、自分が通っていた学校は小学校だけで1200人いた。自分のクラスの友達の中には20人ぐらいは名前も顔もわからない人がいた。今では与えられてくるものが多くなって情報量も多くなってくる中で、子どもたちがこれから本当に育っていくのに何が必要なのかいつも迷っている。ただ、我々の育った60年前とはずいぶん違う状況も確かなので、今の子どもたちのために何が出来るのか真剣に考えなければいけないと考えている。	※4
		・北川村の教育ビジョン、教育サービスなどソフトの部分を具体的に考えていかないといけないと考えている。そこがクリアになれば、様々な設計を含めて手段を検討できる。今見せて頂いた写真に対して、北川村だとどうなるかという話について、頭の中に「北川村ではこういう教育したいな」ということがあるから、この写真に対する評価が出てくるのだと思うので、その部分をうまくまとめていく作業がこれから重要であると考えている。	※6
		・教育を通じて子育て世代を呼び込むことと子どもたちの教育をより良くすることが目的だと理解している。前者については、教育だけひとを呼び込むのは非常に難しい。そのため、就業環境や医療などの北川村のファンダメンタルズ（基礎的な要素）が整備されないと難しい。後者については、一貫校化は、子どもたちにとって、各校種の接続をスムーズにするというのが大きい。上級生が下の子どもたちとの交流することで、人の繋がりとか人の豊かさみたいなものが育まれるメリットがあると思う。一貫校化することが、どのような効果を得られるのかという分析はしっかり検討すべきであると思っている。加えて、2つの目的に対して北川村の子どもたちにとって、どのような効果があるのかを分析できればと思っている。	※6

7. 施設について

7-1 施設・建物のあり方

施設・建物のあり方	全体	<ul style="list-style-type: none"> 施設の空間に付隨されていくものについて、教育のあり方も含めて、地域の意見を吸い上げるシステムの中で、柔軟に可変していけるような柔らかさのある建物を目指していくことも大切ではないかという話があった。また、何のためにというところを大事にすべきではないか、地域に発信していくことも多様性を育むことも大事だが、単に外部に向いているだけではなく、村の子どもたちのためではないかというようなことも大切である。 	※7
		<ul style="list-style-type: none"> 全校共有のスペース（他学年との交流を増やす） 	◎#2
		<ul style="list-style-type: none"> 全部の教科が一つの教室になってほしい。・移動が楽だから。 	◎#2
		<ul style="list-style-type: none"> 自然に囲まれていて、生き物とふれられる環境。 	■ #1
		<ul style="list-style-type: none"> 掃除がしやすい 	■ #2
保小中		<ul style="list-style-type: none"> 様子が見える ☆他の子から刺激がもらえる → がんばろう！期待！ ☆保小（低）が使える中庭、広い運動場 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 保小中が一緒に使う施設の工夫 みんなが使える体育館 ・運動場（保小遊具、小中）・体育館・プール 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 理科室、家庭科室など、共同で使う教室の中の机やイスなどのサイズは、どうするのか（階段、棚など…）色 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 休み時間に遊ぶ時、保～中ほどの年齢幅があるとキケンではないか 専門的に使うのは、どの学年から？→ そこに合わせて考えてはどうか？ 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 小学校のグラウンドだと、中学校には狭くて、走るのが難しい。 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> チャイムが違う 授業中だけど、外がうるさくなると集中できない子が多くいる。 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 0歳～100歳みんなが集える総合施設 	◇#2
地域連携		<ul style="list-style-type: none"> （地域の）活気を取り戻したい 	◇#1
		<ul style="list-style-type: none"> 地域の人と共に活動ができるスペースの活用 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 保小中、地域の人が活動できる広い場所がほしい =図書館（村）、ワークスペース、作業場、調理室 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 保小中としてではなく、村と学校の共有できることは何かを考えることも大切 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 村と図書館、・婦人会等に給食センター利用OK 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> プールの一般利用OK年寄りの健康増進、・技術室等の機会の村との共有（備品等） 	
		<ul style="list-style-type: none"> 保小中、役場など近くにそろっている。 	◇#1
施設の一体化（配置）		<ul style="list-style-type: none"> 学校 保育所 介護施設 点在している → まとめて！！ 	◇#1
		<ul style="list-style-type: none"> 小中と校舎が別々。保小中と同じエリア（移動するときも力サガがいらない）だったらいい。 	◇#1
		<ul style="list-style-type: none"> 体育館に行くのに、公道にでるのは危険 すぐに改善 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 体育館・車道を通っていく危険 ・上履きをもって移動→ すぐ行けるような体育館 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 屋外へでなくても移動ができる設備（保小中にむけて） 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 今ある施設配置にこだわらず、今ある土地にどのように配置すべきか、ベストを考える。（利便性）（保小中にむけて） 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 移動距離が長い 	◎#1
建物		<ul style="list-style-type: none"> 施設の空間に付隨されていくものについて、教育のあり方も含めて、地域の意見を吸い上げるシステムの中で、柔軟に可変していけるような柔らかさのある建物を目指していくことも大切ではないかという話があった。 	※7
		<ul style="list-style-type: none"> 財政というものを考えたときに、夢があることはいいが、財政負担を考え、壮大なものをを作るだけではなく、簡素であっても魅力的なものはできる。 	※7
		<ul style="list-style-type: none"> 子どもが少なくなったら、施設等もいらなくなる 	◇#1
		<ul style="list-style-type: none"> 今ままの学校がよい。 	○#2-6
		<ul style="list-style-type: none"> 今までいい。 	○#2-6
		<ul style="list-style-type: none"> 地震・津波（海から、山から、ダムから）に対応できる施設 	■ #2
防災		<ul style="list-style-type: none"> 体育館は避難所にもなるので、エアコン設置 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 内階段は2箇所必要か 安全上 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> 阪神淡路大震災などの経験を踏まえて、こういった防災備品が増えてきているのは実感している。実際、災害が発生した際にはモノに頼らない対応が重要である。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> 防災については、子どもにとって重要である。学校施設の中で普段から防災のこと を学べるのは大切だと考えている。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> 園として防災を地域の方と一緒に取り組むのは少ない。みんなで一緒にできることとなれば望ましい。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> 防災学習を学校でやっていくのは良いと思った。 	※5

建物のあり方	木造 木質化	・木がいっぱいある学校。気持ちがいい。	<input type="radio"/> #2-6
		・木がいっぱいの学校がいい。	<input type="radio"/> #2-4
		・木いっぱいの学校がよい。(いつでも木のにおい)	<input type="radio"/> #2-6
		・木がいっぱい。	<input type="radio"/> #2-5
		・木だけで、体育館とか、図書館とかを作つてほしい。 気持ちが良くて、すがすがしい気持ちと落ち着くから。	<input type="radio"/> #2-6
		・木が多かったらいいにおいだし、自然を感じられて気持ち良いから。	<input type="radio"/> #2-6
		・木がたくさんあると、落ち着くし、過ごしやすい。	<input type="radio"/> #2-5
		・木のいいにおいがしそう。でも、ポールがはさまりそう。	<input type="radio"/> #2-4
		・木のにおい(メリット)	<input type="radio"/> #2-5
		・カビがはえる(デメリット)、しつける(デメリット)	<input type="radio"/> #2-5
		・きがこわれそうでやだ。	<input type="radio"/> #2-4
		・木質化も同じであり、木質の方が良いと思っている。先ほど言ったように部屋の環境がマイルドになっていくこともある、同じように目的意識がもうちょっと明確でないといけない。国の方が木質化を進めているのは木材資源を使いたかったというのがその頃はあつたが、今は逆に木材が足りなくなってきたという状況である。子どもたちのために木質化が重要というところは議論をしておく必要があると思っている。	※7
		・木質化、木造化については、最終的にはコストとの兼ね合いを考えているが、学びの環境としては大変良いと思っている。一方で、屋外の雨晒しの部分はメンテナンスの問題がでてくる。年1回地域と一緒に防腐剤を塗ったりするなど事例があり、学校が地域のものであるということを理解するための木質化という話にもなる。	※7
		象徴性	<input type="radio"/> #2-5
その他 設備		・学校の目印があると分かりやすいし、シンボルマークがあるとかっこいい。	<input type="radio"/> #2-5
		・学校の場所が分かるようにするために、あんな高い時計台があっておもしろい。	<input type="radio"/> #2-5
		・ゆずのとけいだいをめじるしにしたい。	<input type="radio"/> #2-4
		・ゆずのとけいがほしい。(ゆずのはたでもいい)(2名)	<input type="radio"/> #2-4
		・やねにゆずのめじるしがあるといい。北川村やなって、わかる。	<input type="radio"/> #2-4
		・やねのうえにべんきょうしているところ	<input type="radio"/> #2-4
		・入り口の門のよこに、ゆずの木を1本植えたい。	<input type="radio"/> #2-4
		・北小とゆうはたをたてるとよいと思う。	<input type="radio"/> #2-4
		・慎太郎とゆずの銅像	<input type="radio"/> #2-5
		・みんなが銅像を展示する。	<input type="radio"/> #2-6
		・学校に目印がある。校長先生の顔ができる。	<input type="radio"/> #2-5
		・大きいし、学校はすぐ見つけられるから、いらないと思う。	<input type="radio"/> #2-5
		・とけいは、金がもったいない。	<input type="radio"/> #2-5
		・水力発電 →ソーラーパネルをするときかんきょうにわるいから	<input type="radio"/> #2
		・おそうじロボ(そうじを児童してくれるから)	<input type="radio"/> #2

7-2 幼保一体施設・義務教育学校 専有空間

義務教育学校 学習環境	保育環境	・保育園は、小学生の様子が隣から見られる環境 あこがれを持つ	■ #2
	異年齢対応	・保育の隣接が良いが、いつでも関われる環境（発達に応じた環境の保障）	■ #2
		・場所（園庭など）の確保	■ #2
	広さ 可変性	・施設の広さについて、現在の年長が6名、年中4名、年少3名で人数も少なく、現在の状況で十分ではないかと考えている。ただ、今後人数がさらに減ることで、年長も一緒になると、その状況に合わせて用途が変更できるようになると良い。	※6
	教室環境	・普通教室が現在よりも狭くなるというイメージがつきにくい。特に中学生は体が大きくなる時期であり、現在はゆったりと学習ができる環境だが、それが狭くなることによって少し窮屈になるのではないかという印象を持った。	※5
		・写真をみた感じでは狭くないと思ったが、電子黒板など多くの備品があるので少し狭くなると感じている。可動式については、防音ができていれば可動式の間仕切りは使い勝手が良くて魅力的である。	※6
		・もっと広くしてほしい。	○#2
		・教室は広くてつくえをつなげたい。	○#2-4
		・教室に直接日光が入りすぎ。ひさし必要	■ #2
		・もっと明るく個性的に。いてうれしくなる場所に。	○#1
		・木のにおいてくしゃみがでそう。アレルギー	○#2-5
		・てんじょうに木があつていい。たかくていい。	○#2-4
		・つかまえた生き物を虫カゴにいれて、1週間くらいてんじする部屋をつくってほしい。	○#2
		・教室にも本のコーナーがあると良いと思う。	○#2-5
教室	コーナー	・教室にも、本のコーナー	○#2-5
		・たたみで本がよめるのはいい。	○#2-5
		・たたみがある教室	○#2-6
		・本のコーナー（和室）	○#2-6
		・たたみがある和室が良い	○#2-6
		・たたみで本がよめる	○#2-6
	家具 しつらえ	・タブレット端末が導入されたことで机が狭くなっているのではないかと感じている。 どう対応するかは気になっている。	※6
		・机の大きさについて、現在、文部科学省の委員会でもタブレットが導入されてどうなるのかという議論は継続して行っている状況である。タブレットが全員に配られている段階で全員同時に自分の手元で何かを見るということもできるとなった時に、一斉に同じ方向を向いている机ということも将来的にどうなるのかわからないというような議論もある。 現にヨーロッパなど他の外国の学校を見てみると、低学年ではテーブル形式で4人とか6人とかで学習するスタイルもあり、その辺りは現在過渡期なので議論しにくい部分もあるが、少し柔軟に考えてもいいのではないかというふうに思っている。北川村のことで言えば、児童生徒数が非常にコンパクトな規模感ということは、逆に捉えると非常に柔軟な運用ができる事にもなるので、例えば一斉的な全員で前を向いて先生の黒板の場面を見るような授業をする空間もあれば、グループで行う部屋もあるというような空間も可能だと思っている。なので、個別最適の学びということが今後空間的にどうなっていくのかということも同時にイメージしながら議論を行っていきたい。	※6
		・座るソファがほしい。（つかれたら座れるから。ヨギボーなど）	○#2
		・遊ぶ物がもっとほしい。・ゲーム機がほしい。（休み時間にゲームがしたいから）	○#2
		・れいぞう庫がほしい。（ジュースを持参して冷やしたいから。）	○#2
		・れいぞうこ（れいとうこ）すいとうのお茶がぬるくなった時、氷を新しいのをいれれるから	○#2
		・コーラ冷水機がほしい。（休み時間にコーラがほしい）	○#2
		・ロボット 理由：常に楽しくおれそう。先生がいない時に使う。	○#2
		・クーラーがついている。	○#1
		・おちつくから。けしきがきれいだから！クーラーがついている。	○#1
(好きな 理由)	既存に対し	・勉強がいっぱいできるから。友達がいるから。	○-1
		・勉強したりみんなと遊んだりして思い出の場所だから。	○-2
		・勉強ができるから。やのわかこ先生が大好きだから。	○-2
		・みんなと楽しく過ごしている場所だから。	○#1-6
		・みんなとたくさん勉強して、落ち着く所だから	○#1-6
		・みんなといっしょに勉強できるし、自分のつくえがあつておちつくから。	○#1-6
		・みんなが明るくて元気になれるから	○#1-6

オープンスペース (新設)	活動 イメージ	・教室の近くにオープンスペース（異年齢・地域交流）	■ #2
		・オープンスペースに談話できる所！！	■ #1
		・子どもや教職員が気軽に話したり、勉強しあえるスペース	■ #2
		・ろうかにも、本を読めるところがほしい。（教室の近く）	○#2-5
		・いろいろなおもしろい場所がほしい。	○#2-6
		・いろいろおもしろい場所。	○#2-5
		・おもしろい場所がほしい。	○#2-4
		・アスレチックとかがありそう。	○#2-5
		・へやに少しアスレチックみたいなのがほしい。	○#2-4
		・オープンすぎない教室や空間（そのときどきで簡単に変えられるようにしたい）	■ #2
エントランス	しつらえ	・オープンスペースは小学生低学年にとっては魅力的であるが、中学生がそれと同じようなものが必要なのかは考える必要があると思う。	※5
		・丸い机があるし、机を動かさなくていいから楽。	○#2-6
		・個別対応ができる部屋（複数）（小さくても可）	■ #2
昇降口	校門	・登校するときに、気持ちよく入りたいので、自分のどう像を置いてほしい。	○#2
	表札	・（正門入ってすぐの木）かけがある。木の下に立っていると、色々な風景が目に入る。	○#1-5
		・じぶんがかよっている学校だなって思うからです。	○#1-4
北校舎 ⇄ 南校舎	既存に対し	・入り口のマークが好きだから。いつもこの入り口をくぐっていたから。	○-3
	既存に対し	・掲示物が多く、いつも変わるので見ていて楽しい。	◎#1
		・そのまま靴で学校に入れる靴をぬぐのがめんどくさい	◎#2
小学校 ⇄ 多目的	既存に対し	・帰り道、小学生をひきそになる	◎#1
北校舎 ⇄ 体育館	既存に対し	・北校舎→体育館 移動が大変	◎#1
通路空間（廊下）	イメージ	・雨の日に、渡り廊下を歩いていたら、雨が入ってきてぬれるから。	◎#1
		・すべることころがある。雨が体に当たる。	◎#1
		・すべる。	◎#1
		・せまいから、自転車で通るとき危ない。	◎#1
		・移動がしんどいから。遠いから。自転車がとおりにくい。	◎#1
	サイン	・学校と体育館がつながっている（移動が楽）	◎#2
		・教室の窓からでたら、すぐにプール	◎#2
通路空間（階段）	イメージ	・屋上に畑 理由：移動が楽	◎#2
		・ベルトコンベアで給食を運んでもらう。楽だから。生活しやすくなる。	○#2
		・ベルトコンベアで給食をはこぶのは、われたら給食がたべられなくなるからいや。	○#2
		・（手づくりサインに対して）一年生も絵がかけていいと思う。楽しい！！	○#2-5
		・（手づくりサインに対して）教室などのところにサインをつけてほしい	○#2-4
	既存に対し	・もっと華やかに。通って楽しいところに。	◎#1
		・白いのがつくから。	◎#1
屋上	イメージ	・給食の時間に、ご飯を運ぶときに大変なので、エスカレーターか、エレベーターをつけてほしい。	○#2
		・階段をエスカレーターにして、行き来できるようにしてほしい。（半分だけ階段にする。）階段だとけそうで、早く行くことができなくて、おくれそうになるときがあるから。けがしている人や骨折した人が、楽に行き来できるから。	○#2
		・エスカレーターを下りる用と上がる用2台ずつ。行列になったとしても、2台ずつあれば、けんかにならず、行き来することができるから。	○#2
		・エスカレーターをつけるという人がいたけど、いいと思った。	○#2
		・エスカレーターがほしい。	○#2
		・エレベーター 車いすの人が階段を上がり下りしづらい時にエレベーターがあると誰でも楽に上の階や下の階にいくことができるから。	○#2
		・（小学校2F）絵がとてもきれいで、かいだんはとうこうしているとき見るから	○#1-4
	既存に対し	・（南校舎1F）階段の段差でつまづく。	◎#1
		・（南校舎1F）変な段差につまづくことがあるから。段の高さが変やから。	◎#1
		・（北校舎2F）滑りやすい。	◎#1
		・（北校舎2F）もっとおしゃれに。最後の1段が危険。	◎#1
		・（体育館）窓が高くて開けられないから、通気性が悪い！！それに暑い！！	◎#1
		・てんぼう台をつけてほしい。	○#2

トイレ	洋式	・洋式トイレをもっと増やしてほしい。	○#2
		・(南校舎1F) もっと洋式を増やしてほしい	○#1
		・(南校舎1F) 和式が多い！せまい。床が変。掃除が大変。	○#1
		・(特別校舎) 全部が洋式じゃない。体育館も。	○#1
		・(体育館) 和式しかないから、洋式にしてほしい。	○#1
		・(体育館) 和式が多い。せまいから。変なにおいがするから。	○#1
		・トイレ洋式も	■ #2
	配置	・トイレ 個室（男も）洋式 安心	■ #2
		・(南校舎1F) トイレが2階と北校舎にない。不便。	○#1
		・2階にトイレ 理由：トイレのためだけに下にいくのが大変だから。	○#2
		・といれを2階においてほしい。→下に行くのに時間がかかるから。	○#2
		・2階にもトイレを作る。	○#2
	(既存)	・にぎやかで、カラフルなトイレがほしい。	○#2-4
		・いろいろからふるでいい。	○#2-4
		・カラフルでいい。・カラフルなトイレがほしい。	○#2-4
		・カラフルで、おしゃれ！！みんなで低学年が洗える。	○#2-5
		・めがちかちかしてやだ。	○#2-4
		・おちついでトイレできない。	○#2-5
		・ここちよいトイレ	○#2-5
		・ここちよいトイレ	○#2-6
		・(南校舎1F) 夏暑い。冬寒い。	○#1
		・(特別校舎) 落ち着く。	○#1
	手洗い	・(小学校) おちつくから。	○#1
		・(体育館) せまい。換気がととのっていない。	○#1
		・どうかなトイレがほしい。手をあらうところも大・小ほしい。	○#2-4
更衣室	既存に対し	・どうかなトイレがほしい。	○#2-4
	しつらえ	手あらい場は、小さい子ように大小の手あらい場を作ったらしい。	○#2-4
	・でかく横長のかがみがいいと思う。	○#2-5	
	既存に対し	・物置き状態	○#1
	しつらえ	・色んな場所に鏡をせっち（身なりをチェック）	○#2

特別支援教室	しつらえ	・これまで特別支援学級ができるたびに、中を改修してきた経緯があるので、レイアウトを簡単に変えられるのはいいと考えている。	※6
		・特別支援学級についても、間仕切りを設けると同時に、どこの場所に設置するのかも重要である。プライバシーの観点からも、落ち着いた空間も重要であるので、そういう内容も追記していきたい。	※6
その他支援環境	必要な空間	・個別対応ができる部屋（複数）（小さくても可）	■ #2
		・教室に入りづらい児童・生徒への対応を行う部屋	■ #2
保健室	しつらえ	・ほけん室を広くしたい。けがした人をはこぶやつもほしい。あるけないかもしれないから。	○#2
相談室	相談	・子どもが何かしら相談する場所があったらしいではないかと思う。	※5
	既存に対し	・息抜きができる。お話ができる。（好きな理由）	○#1
カウンセラー室	既存に対し	・相談したい事を話せるし、カウンセラーの先生がやさしくしてくれるから。（好きな理由）	○#1-5

職員室	職員室 環境	・職員室広いスペース	■ #2
		・先生方がやすめるところがほしい。	○#2
		・先生がつかれているので、休める場所があるといい。	○#2-5
		・先生たちが休けいやゆったりできるところがあってほしい。	○#2-4
		・先生が仕事がおわったとき、ゆっくりできる	○#2-4
		・先生たちが休けができるし、ゆったりできる	○#2-4
		・先生たちがやすめるところがほしい。（しづかなところ）	○#2-4
		・かたとか、うでがつかれるから、マッサージ機を買ってあげる。	○#2-4
		・マッサージきがほしい。（先生のため）	○#2-4
		・ベットのたくさんある、先生のへや。マッサージ機も。	○#2-5
		・先生たちの一人部屋	○#2-5
		・あんな不思議なところがあると、ユーモアな発想でおもしろい。	○#2-5
		・いすがちいちやいから、やだ。いすがおおきくしてほしい。	○#2-4

職員室	配置 こどもとの 関係	・先生に声がかけやすい。	<input type="radio"/> #2-5
		・先生に声がかけやすい。先生もぼくたちのつくえにする。かたいいすにする。	<input type="radio"/> #2-5
		・教室とつなげてほしい。	<input type="radio"/> #2-5
		・先生が近くにいる。	<input type="radio"/> #2-5
		・わたしたちが、わいわいするとき、うるさい。	<input type="radio"/> #2-4
	職員交流	・子どももそうだけど、先生もね！教職員の交流の場（研修以外でも、もっと仲良くなろう）時間が問題…かも。	■ #2
		・先生たちが、自由に放課後などお話できる場所がほしい。	<input type="radio"/> #2-4
		・先生のことを考えると、先生らくでいられて、ゆっくりとお話できるソファかクッションをおいて、そのときだけでも、ねっころがってできるしょくいん室。	<input type="radio"/> #2-4
	既存に対し	・もっと明るい雰囲気に	<input type="radio"/> #1
		・いつでもクーラーが効いている。何か売っている。ちょっと高い。	<input type="radio"/> #1
		・何か売っているが、少し高い。	<input type="radio"/> #1
会議室	保小中	・合同職員室（会議スペース） 小職員室	■ #2
	使い方	・雨の日とかに遊びたいので、しうぎ場にしてほしい。	<input type="radio"/> #2
更衣室・トイレ	しつらえ	・くつろげるトイレ（パウダールーム、歯磨きができる）	■ #2

7-3 地域共用空間（特別教室＋複合化の可能性）

教科学習空間	全校共用	<ul style="list-style-type: none"> ・全校共有のスペース（他学年との交流を増やす） ・全部の教科が一つの教室になってほしい。・移動が楽だから。 ・教科専用教室 ALT、CIR、ICTルーム（リモート可能） 小中で使えるよう、できれば複数 ・教科用の教室や準備室が必要 	◎#2
		<ul style="list-style-type: none"> ・教室というのは教科名で付けられてしまうところがあるが、そこでは何をやる部屋なのかという観点で、改めて特別教室のあり方を考えるなかで、一緒にしておいた方がいいものが見えてくると思っている。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムあるいは先生方がどういうことを大事に授業を行うのかによっても組み合わせは変わってくるのだろうと考えている。今は基本計画なので、いろんな可能性があるというところを考えながら進めさせていただくのも1つ。その中で、最終的にはこの組み合わせがいいのではないかというようなところを見つけていけるといいのではないかと思っている。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> ・（例）ワーキングスペースという名前で理科室と家庭科室を1つの教室で作っている。小学校だけなので調理実習が大変少ないと言うこともあり、理科と兼用で使うということは全く問題ない状況である。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> ・（例）理科室兼家庭科室を取っていて、空いている方を使ったり、どちらかが空いてれば広げて使ったりという形で運用している。調理室はランチルームの奥にあり、ここで調理実習をしてランチルームで試食をするという使い方をしている。このような形で効率的に使用頻度を考えて作っている例もあるので、柔軟に考えていけたらいいと感じた。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> ・（例）音楽室みたいな音を出す部屋はオープンでなく閉めきっておく構造が必要になるし、外国語教室も音を出す部屋であり、逆に音が外から入ってきて嫌である。そういうことから、音を遮る機能をどういう部屋につけるのかも考えておく必要があると思った。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> ・（例）小学校の図工は、イメージだとアートなので一般的に美術室となるが、技術家庭の学習として技術室を兼用している例もある。現在木工金工などものづくりの学習を扱う授業時数が減ってきてるので、図工と技術家庭の学習を1つの教室で使用する例もある。 	※5
		<ul style="list-style-type: none"> ・0歳～100歳みんなが集まる総合施設 ・地域の人と共に活動ができるスペースの活用 ・保小中、地域の人が活動できる広い場所がほしい =図書館（村）、ワークスペース、作業場、調理室 	◇#2 ■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> ・保小中としてではなく、村と学校の共有できることは何かを考えることも大切 ・村と図書館、・婦人会等に給食センター利用OK ・プールの一般利用OK年寄りの健康増進、・技術室等の機会の村との共有（備品等） 	■ #2
		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科室や理科室は子どもたちや先生が使用していないときに、村民に開放することはよい 	※6
ラボ (生活科・理科)	しつらえ	<ul style="list-style-type: none"> ・理科室などを増やしてほしい。理由：いちいち中学校までいのが、めんどうだから。 ・理科室は、外でも使用できるし、外で勉強とは、発想がおもしろい。室内もかっこいい。 ・いろいろなことができる理科室 ・いろいろなりかじっけんができる ・外とつながる理科室。外で勉強できる場所 ・そとつながる理科室 ・わくわくしながら、理科ができるほしい。（観察など） 	○#2 ○#2-5 ○#2-6 ○#2-4 ○#2-6 ○#2-6 ○#2-6
ラボ（工作）	活動イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・工作室がほしい ・ものづくりの場所 ・ものづくりのへやがあって、たのしそう。ものがたくさんつくれるからいい。 ・みんなで工作できるから、楽しそう。図工室がないから。 ・工作が作れる場所がほしい。 ・自然をいかして木を使った授業（何か作る） ・ものづくりの教室がほしい。道具がいっぱいがいい。休み時間にもいける。 ・じゅ業のときや休み時間のところに工作のできるところがほしい。 ・工作室がほしい。休み時間も工作したい。それをもって帰りたい。 ・自分がみんなとDIYできる ・クラスで自由にDIY 	○#2-4 ○#2-5 ○#2-4 ○#2-5 ○#2 ○#2 ○#2-4 ○#2-4 ○#2-4 ○#2-5 ○#2
		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な工具もあって、楽しそうだし、工作の所は、研究所みたいでかっこいい。 ・フィンランド風のが良い ・えを書くかみのだいがあるとうれしい。つくえがいっぱいになるから ・工具がそろっている。 ・ざいりょうがいっぱいあっていい。 ・ものづくりしながら、道具の名前を覚えられる。 	○#2-5 ○#2-4 ○#2-5 ○#2-4 ○#2-4 ○#2-5

ラボ（美術）	既存に対し	・美術が好きだから。森林がみえるから。⇒けしきがきれいだから。 ・机があまり好きじゃない。	◎#1 ◎#1
ラボ（家庭科） (キッチンラボ)	既存に対し	・（被服室）さいほうができる。（ので好き）	◎#1
	しつらえ	・家庭科室が現在は別々である調理室と被服室とをまとめて一緒にして、地域の方も活用できるというのはとても良いと思う。 ・自由度の高い調理室　・大きい調理室と少人数で使用可能な調理室が複数あったらな…。 ・加工施設　村の特産品を使った商品を作れる誰もが使える施設。 食品を作ってみたいと思ったときに、皆が使える加工機器がそろっている。 フリーズドライの機械など子どもたちも授業で使えるといいので、学校に近くにあるとよい	※5 ◇#2 ◇#2
	活動 イメージ	・何か料理出来る所 ・食育の面で、料理ができるような空間があったら良いと思う。	◎#2 ※6
ラボ（たたみ）		・畳の空間はリラックスでき、子どもを安全に遊ばすことができるのではないか。	※6
ホール（音楽）	広さ	・もっと広くしてほしい	○#2
	しつらえ	・もっと楽器を増やして教室の幅を広げると、もっと楽しく音楽の授業ができると思う。 ・ダンスができるカガミの部屋がほしい。 ・防音室がほしい。 ・カラオケができる場所 ・カラオケボックス（ストレス発散になるから）	○#2 ○#2 ○#2 ○#2 ○#2
	楽器等	・音楽　楽器が沢山ある所 ・楽器を増やしてほしい	○#2 ○#2
	既存に対し	・音楽が好きだから。広い。楽器があるから。 ・雰囲気が好き。床が好き。 ・歌やけんばんハーモニカができるから。 ・いろんな楽器があって、音やひびきもそれぞれちがうくていろんな音が楽しめる。 歌を歌うと気分が良くなって気分がいいまま教室に帰れるから。 ・図書室だったら、本がもっと増えいろいろ本が読めるようにしたい。 音楽室だったら楽器が増えいろいろな楽器を使えるようにしたい。 知らない楽器もほしい。図書室や音楽室など広くしたい。 ・元気でうたうから。 ・もともとリコーダーが苦手だったけど、できるようになったのが音楽室だったから。 ・音楽の勉強が楽しいしばらくが好きな木琴があるから。 ・みんなで音楽の勉強をするのが好きだし、知らない楽器をさわれるから。 ・楽器がたくさんあるし、音楽の授業が好きだから。 ・みんなの歌声や楽器の音などを聞くことが楽しいから。	○#1 ○#1 ○-2 ○-3 ○-3 ○#1-4 ○#1-5 ○#1-5 ○#1-5 ○#1-6 ○#1-6
放送スタジオ	活動 イメージ	・短波ラジオ：村の住民がつくる番組、リスナーとDJがつながる ・スタジオ、カラオケ（あるとよい）	◇#2 ◇#2
プレイルーム (英語などの活動) (多目的)	活動 イメージ	・楽しく英語の勉強できるところがほしい。 ・楽しくて、みんなで英語ができていい。 ・楽しく英語ができる教室がほしい。 ・英語がみんなと楽しくできる。 ・楽しく英語ホーム ・英語のへやがほしい。きせつによって、へやをかえてほしい。 ・ALTの先生とお話できるからいい	○#2-4 ○#2-4 ○#2-4 ○#2-5 ○#2-5 ○#2-4 ○#2-4 ○#2-5
	しつらえ	・海外みたいな部屋で楽しく英語をやりたい ・海外の物を取り入れると、他国の文化も分かる。 ・英語の勉強をしながら、外国風のくうかんで入れる。 ・ハリーポッターの城みたいでカッコイイ！！ファンタジー ・海外のふんいきがいい。 ・こつきとかあっていい。どこかおぼえれていいい。 ・気分が上がって、授業は受けられるけど、集中できなさそう。	○#2-4 ○#2-5 ○#2-5 ○#2-5 ○#2-5 ○#2-4 ○#2-4
ホール（多目的）	しつらえ	・広くてきれいでいい ・木の香りがいい、良い気持ち ・木でできていることで落ちついてできることができる。 ・休み時間集まれるように 理由：雨の時、みんなで遊べる所がないから ・ホール　冷暖房があり◎ だけど、個別支援が必要な児童・生徒への対応→天井が高ければ	◎#1 ○#1-5 ○#1-5 ○#2 ■ #2
	既存に対し	・夕方には優しい日の光をあびながら勉強できる ・おたのしみかいができるから。 ・入学式のときに一番最初にいったところだったから。	○#1-5 ○#1-4 ○-2

集まるれる場所 (大階段)	しつらえ	・みんなが集まるれる場所があるといい。後ろの人でも見えるから。	○#2-6
		・みんながよく見える。(背が低い人でも)	○#2-6
		・階段があって、段差があるから、見やすい。	○#2-6
		・背が低い人でもみれる。	○#2-5
		・イスにすわって集まりたい。	○#2-5
		・階だんではなく広場で集まる方がいい。	○#2-4
		・かいだんではなく、広い場所で集まるほうがいい。	○#2-4
		・ちょっとせまそうで、集中できなさそう。	○#2-5
		・せもたれがないから、いたそう。	○#2-5
		・みつでのばらないかんから、めんどい。	○#2-4
		・クラスターがおきそう。	○#2-5
		・ろうかがせますぎて、やだ。	○#2-4
給食調理室	小学校	・給食室を新しく 検収室：専用室ほしい、下処理室（3層シンク） 雨もりとかもある。保・小・中 ランチルーム	■ #2
ランチルーム	しつらえ	・ていぶるがまるくて、かおがみえるし、はなせるからいい。	○#2-4
		・丸いテーブルと一緒にご飯を食べたい。	○#2-5
		・丸いテーブルでごはん。	○#2-5
		・丸のつくえじゃなくて、四角いのが好み！！	○#2-5
		・丸いテーブルじゃなくていい。	○#2-5
		・みつになってやだ。	○#2-4
		・みつになるからやだ。今じゃなければいい。	○#2-4
		・給食	◎#1
		・みんなで楽しくごはんを食べれるから。	○#1-6
		・みんなでごはんを食べると、いつもよりとても楽しくて、毎日の給食が楽しみになる。	○#2-5
	活動 イメージ	・現状の面積比較をするとこの多目的ホールと現行のランチルームはほぼ同じ大きさである。 (ここで)自校給食ができてしまうというようなことも可能なのではないかと考える。	※5
		・子どもたちからもこのランチルーム的な環境を守っていきたいという声が上がっていたので そこはこれまでと同じように作っていきたいと考えている。地域の方からも、そこに入って 一緒に給食を食べるようなことができないかというようなお話を出しているので、1つの案と してまた改めてお示しをさせていただきたい。この多目的ホールを地域も含めた食堂のよう な形にさせていただくのもいいのではないかと考えている。	※5
		・この多目的ホールの隣にプールがあるが、そのプールの隣に道路がある。 このプールは年代的にはもう解体すべき時が来ているので、解体して広場にして外につな がっていくような場所にしていくというようなことも可能なのではないかと考えており、 そういうことを含めると、地域交流拠点というような形でのランチルームの有り様とい うものが可能性として開けていくのではないかと思う。	※5
		・給食は、食どうみたいなとこがいい。(ぱいてんみたいなもの)	○#2-4
		・自由におべんとうを持ってきて、みんなで食べれる所	○#2-5
		・給食ではなく、バイキング形式か食堂	◎#2
		・バイキングがほしい。学食が良い！！	◎#2
		・デザートなどを自由に食べれるところ！バイキングみたいな…	◎#2
		・自販機（飲料・お菓子）がほしい（日々のいやし）	◎#2
		・食べ物を売っているこう売を作ってほしい！	◎#2
		・パインアップルの木がほしい。	◎#2
		・べにいもタルト、ガトーショコラ、大福を売ってほしい。	◎#2
		・やきとり、マックのテリヤキバーガー、食べほうだい	◎#2
		・スシローのメロンのアイス食べたい	◎#2
		・腹へったら、せせり食べるようにしてほしい	◎#2

●複合化：食堂・カフェ、売店

地域食堂	イメージ	・地域食堂 給食を地域の人も食べられるように 食育を地域に	■ #1
		・いつでも、だれでも、あつまって、ごはん食べれる	◇#2
		・来てふれあえる場所	
		・『地域』はみんなが使っていいイメージ	◇#2
		・行きやすそうな名前やふんいき作りを！	◇#2
		・放課後、子どもが立ち寄れる	◇#2
大人の食堂 「あかのれん」		・大人の食堂 夜の食事	◇#2
		・若い人の遊び場所（中間層）	◇#2

カフェ	イメージ	・学校の近くにあるカフェ。（2名）	○#2-6
		・学校の近くにカフェ	○#2-5
		・学校の近くにカフェがほしい。（3名）	○#2-4
		・気軽にカフェにいけていいと思う。おちつく	○#2-5
		・木でできたカフェ（学校の近く）	○#2-5
		・カフェがあつたら、土日など飲みにきたりする。	○#2-4
		・カフェがあると友だちと行ける。インスタもとれる。	○#2-4
		・もし、学校のちかくにあつたら、のみに行く	○#2-4
		・親ないしょで、来たい！！	○#2-5
		・オシャレ	○#2-5
		・カフェみたいでオシャレだし、便利だと思う。	○#2-5
		・カフェみたいでキレイ。役に立つ。	○#2-5
		・子供が運営するカフェ（仮想通貨とオリジナル商品作り）	◇#2
		・子づれで『カフェ』行きにくい	◇#2
		・高齢者も大人も、子どもとつながれる場所	◇#2
		・接点、つながりを持ちたい！	◇#2
		→ だれがくるかわからない。学校にあるべきもの、ない方がよいもの（しっかり考えたい）	◇#2
		・ちょっとした買い物やカフェがあればよい。（店員は高齢者も雇ってほしい）	◇#2
道の駅	イメージ	・地域の旬の野菜やゆずが気軽に手に入る場所	◇#2
		・ゆず販売所	◇#2
マルシェ	イメージ	・お土産ショップ（Aコープテッタイ）	◇#2
		・アンテナショップ	◇#2
店舗	本屋	・みんなとマルシェと行ける。インスタ	○#2-4
		・マルシェがあると、ごはんもかかる。	○#2-4
コンビニ等	売店	・おじいちゃんとかもいっしょに、マルシェに行ける。	○#2-4
		・いろんなしよう品をうれるから	○#2-5
店舗	コンビニ等	・学校で作った野菜をマルシェで売ったりしたい。	○#2-4
		・マルシェに北川村のゆずを使った料理をだしたい。気持ちが知れそう	○#2-5
店舗	店舗	・学校にお金を持っていって貰いたい。	○#2-5
		・お金をこっそり持つて買えそう！！	○#2-5
店舗	店舗	・まるしおがほしい。（2名）	○#2-4
		・マルシェは、近所	○#2-5
店舗	本屋	・本屋（最寄りになくて、買えない）	◇#2
		・図書館、本屋	◇#2
店舗	コンビニ等	・飲み物（ジュース）がでてくる機械がほしい。	○#2
		・れいぞうことれいとうこがほしい。こおりがとけたりするから。 一人ひとりのこおおり入れがほしい。	○#2
店舗	コンビニ等	・コンビニや売店（村の中に）　　村の中にある売店が少ないし、 コンビニとかもあつたらいいから。（食べ物や飲み物だけでなく、 地域の物を使った料理も売っていたらいいと思う）	◎#2
		・コンビニ	○#2
店舗	コンビニ等	・売店	○#2
		・お店　ほうかご、おやと行く。村民とふれあえる。	○#2
店舗	コンビニ等	・出店（やたい）	○#2
		・無料屋台がほしい。（お腹がすいたら食べれるから）	○#2
店舗	コンビニ等	・無料お菓子屋がほしい。（お菓子が食べたいから）	○#2
		・駄菓子屋（こどもが）アフター5（ファイブ）を楽しむ場所	◇#2
店舗	コンビニ等	・通学・帰宅の買食（買い物）禁止がなくなつたらいい。	◇#1

●複合化：醫療福祉設施

● 住民化・医療福祉施設			
施設名	属性	評価	得点
病院	地域・交流	・病院（あるとよい）	◇#2
老人ホーム	地域・交流	・老人ホーム（あるとよい）	◇#2
老人ホーム	地域・交流	・老人ホーム（あるとよい）	◇#2
その他	新しい行き	・ホテル	○#2
	新しい行き	・キャンプ場	○#2
	新しい環境	・村の中に病院や交番があつたらいいと思う。 村の中にはないと、田野とかまで行かないといけなくなるから。 交番があると、すぐに落とし物をもっていけるから。	◎#2

●居場所になりうる公共空間 → ラーニング・コモンズを地域図書館とした場合の活用イメージにつながる

リラックスできる 場所	ゆったり すごせる 場所	・休憩するスペース（勉強の疲れをいやす）	◎#2		
		・ものすごく休けいできるところ	◎#2		
		・屋上　きれいな空気を吸うため　息抜き	◎#2		
		・ながめがきれいなとこ	◎#2		
		・リラックスできるところ！ →ソファとか！	◎#2		
		・床がたたみの部屋（和室）　ねやすい　くつろぎやすい	◎#2		
		・ソファ（超大きい）リラックスするため	◎#2		
		・ソファ（リラックスしたい）	◎#2		
		・学校の椅子がソファ 理由：今のが固い	◎#2		
		・クッション（リラックス）	◎#2		
		・ベット（寝たい）	◎#2		
		・ベット（寝たい）	◎#2		
	休まる場所	・寝れる所 理由：机は固い	◎#2		
		・静かにできる場所（休けい） 静かにできるところがほしい	◎#2		
		・泊まれるスペース（てつやしたいときがある。）	◎#2		
		・温泉（部活後の疲れをいやす）	◎#2		
みんなでわいわい すごせる場所	こどもたち 専用の場所	・仲を深める　・みんなが気軽に来れる	◎#2		
		・全学年が集まって、楽しく話したり、遊んだりできる場所！	◎#2		
		・先生が知らない秘密の部屋がほしい。	◎#2		
		・しゅみのものができる場	◎#2		
		・チエキをとれる用の場所	○#2		
何となく気軽に行け 好きに過ごせる場所 いろんな活動が 出来る場所	活用の イメージ	・Wifiのあって何でも持ちこめる休めるところ 理由：休み時間に遊んだりしたい	◎#2		
		・ネットカフェみたいな個室でいる時間 理由：じぶんだけの場所っぽいができるから	◎#2		
		・カフェ的なもの 理由：ひまな時に…	◎#2		
		・好きな音楽を聞けるところ！一人で！ ソファとかすわれるところも！	◎#2		
		・休みの日でも 自由にいけて 勉強するスペースやカフェがある場所	◎#2		
		・下校がおわったあと宿題する場所がほしい。	○#2		
		・自由になんでもしていい場所がほしい。（絵を描いたりとか） あたら、リラックスできそう。楽しそう。	◎#2		
		・みんながリラックスできる所がほしい。 →宿題する場所や音楽を聞いたり、本を読んだりする所など。	○#2		
		・校内ミニシアター（全校で）	◎#2		
		・映画かんほしい	◎#2		
		・広い部屋にスクリーン 時々上映会など	◇#2		
		・子どもたちがあつまれる場所	◇#1		
子どもたちが 集まる場所	イメージ	・小学生、中学生が集えるようになれば	◇#1		
		・地域と地域 子どもと地域 地域の多世代 村内と村外 様々なふれあいの場	ふれあう	・子どもたちとふれあう機会と場所を	◇#1
		ふれあう	・地域の人々と、学校・子供達とのかかわりを多様に	◇#1	
		ふれあう	・住民と子供達（学校）のオープンな関係。共に楽しめること。	◇#1	
		地域・交流	・子どもと大人が常に、交流できる場所	◇#2	
		ふれあう	・小さい子供達が近所にいないので、若い人のことがあまり分からぬ。	◇#1	
		交流ひろば	・様々な世代の交流（場）	◇#1	
		交流ひろば	・地域間の交流が以外と少ない薄い	◇#1	
		交流ひろば	・北川村のいろいろすごい方がたくさんおられる思うので、いろんな交流を持てたらいいな。	◇#1	
		交流ひろば	・どなたかつかないてくれる人が居たらよいと思っていたが、 自分からいかないといかんと思った！でもやっぱりハズカシイ。	◇#1	
		交流ひろば	・施設のことなんかはわからない。 私が生きている内に作ってほしい。大いにでかけてゆきます。	◇#1	
		ふれあう	・直接行かずとも、子供と地域の人がデジタルで交流できたら（子供達が教える役で）	◇#1	
お茶の間のような 場所	地域・交流	地域・交流	・地域の先輩教室（お年寄りなど…が先生になる）	◇#2	
		地域・交流	・お母さんたちの集まり 本をよんだり、つながる場 → 社協でやっているけど (つながりはつくるが) 集まる場所は、学校の方がいい。	◇#2	
		地域・交流	・赤ちゃん連れから、お年寄りまで、土日	◇#2	
		地域・交流	・移住者の若いお母さんと、地元のお母さんと繋げていく場所	◇#2	
		地域・交流	・大人も子どもも自由にきて、交流できる場所	◇#2	

みんなの保健室	地域・交流	・ほけん士を利用して、だれでも皆、気軽に利用できる。	◇#2
	地域・交流	・みんなの保健室（ちょっとした話ができる場所）。ジムも	◇#2
	地域・交流	・カフェの中の保健室	◇#2
若い人が集まる 出会いがうまれる 場所	若い人集まる	・若い人の集まる広場がない 気の毒	◇#1
	若い人集まる	・若い人体を動かせる場所がほしい	◇#1
	若い人集まる	・若者が集まって出会う場がない。	◇#1
	出会いの場	・女性も男性も独身の移住者を探す！！そこで出会い♡があれば…	◇#1
	出会いの場	・ちょっとおせっかいな仲人さん	◇#1
	新しい環境	・プラネタリウム（・若い人どうし、語り合える場所として）	◇#2
村の通り道で	地域・交流	・いつでも座れる木陰のベンチ←あちこちに	◇#2

7-4 地域共用ラーニングコモンズ（図書館）

既存図書館に対し (図書コーナー)	図書 (中) 図書 (小1)	・本を読むのが好きだから。落ち着くから。	◎#1
		・本が好きだから。静かだから。	◎#1
		・本がいっぱいあって楽しいから。	○-2
		・1年の頃から図書室で読むのが好きでした。だから私は本を読むのが好きになりました。 ぶ厚い本がいっぱい好きです。（1階の図書室）	○-3
		・お気に入りの本があるし、いっぱいいろんな本があっていっぱい本が読めるから。	○-3
		・いろんな本がすごくいっぱいあってわかりやすくおぼえやすいところに本がある図書室が あつたら楽しいと思いました。	○-3
		・本が好きでいろいろ面白い本がいっぱい置いているから。	○-3
		・教室と同じくらいの広さで、オセロや将棋、カードゲームで遊べる部屋。本が1万冊以上ある 部屋。（図鑑や歴史の本やお話）	○-3
		・本が好きでたくさん本を借りて思い出もあるし、好きな本もたくさんあるから。	○-3
		・本や図書館がもっとほしいです。雨や外で遊べない時の物を少しほしいです。 テレビやニュースが見れるところがほしい。	○-3
図書館 (本をよむ)	図書 (小2)	・本や図鑑がたくさんあり、みんなで楽しくよめるから。	○#1-5
		・本が好きだから	○#1-5
		・本を読むといろいろなことを学ぶことができるから	○#1-5
		・いろいろな種類の本を読めるから	○#1-5
		・何か調べる時、ほんの種類が多いと調べやすくなる。	○#1-5
		・いろいろな本があって、おもしろいと思う本があるから。	○#1-5
		・様々なジャンルの本があり、自分に合った本を探すのが楽しいから。	○#1-5
		・本がいっぱいあって、本を読むのが好きだからと、いろんなジャンルの本を読めるから。	○#1-5
		・本がいっぱいある図書館	◎#2
		・ゆっくりいろんな本が読める所がほしい。	◎#2
	イメージ 希望	・大きい図書館（学校の近く） 一人で読める個室 みんなで集まれる所マンガ小説、いろんな本	◎#2
		・大きな図書館がほしい。（4名）	○#2-6
		・部屋をもっと広くして、本をふやしてほしい。 (ぶあつい本) とくに物語と、ちょっとマンガもほしい。	○#2
		・もっと広くして、本を増やして欲しい。	○#2
		・もっとむずかしい本を多くしてほしい。	○#2
		・おりょうりや竹の本がほしい。	○#2
		・図書室はもっと本をふやしてほしい。場所もひろくしてほしい。 いすもつくえもふやしてほしい。1週間に1回、中学生といっしょに読みたい。	○#2
		・本がいっぱいあって、もっとひろくなってほしい。 そふあがいい。本が好きなひとがよろこぶ。	○#2
		・クッションなどがほしい。理由：かたいイスよりやわらかいイスで集中しながらよめると思うから。	○#2
		・本がたくさんあっていい。	○#2-4
(一人でよむ)	イメージ 希望	・大きすぎると本がさがしにくい。	○#2-4
		・本がありすぎて、本を返すときに大変。本がありすぎて本をかえすところがわからない。 (2名)	○#2-4
		・楽しくよめる大きい本だな	○#2-5
		・大きな本だな（2名）	○#2-5
		・大きな本だなでかこまれていい！！	○#2-5
		・大きい本だなに囲まれていて、楽しそう。	○#2-5
		・大きい本棚に囲まれて本を読むと、げん想的。	○#2-5
		・本棚が高いとこわい。	○#2-5
		・個室がほしい。	○#2-5
		・一人でしづかに読めるところがいい。	○#2-4

(地域共用)	使い方のイメージ	・図書館を中心としたコミュニティー	◇#2
		・図書室の整備、新しい本の購入	■ #1
		・図書館（あるとよい）	◇#2
		・今でも一応ある	◇#2
		・子供中心	◇#2
		・村立図書館（と学校との関係）	■ #2
		・図書館 学校も一般住民 使える	◇#2
		・図書館、本屋	◇#2
		・もっと大きい図書館がほしい。	◇#1
		・休みの日にこどもが利用できる図書館・公園があればいいな。	◇#1
		・知識欲が深まる施設。文化的な場所があつたらいい。	◇#1
		・大人も子どももワクワクドキドキ村の未来を描ける場所、つくりたいですね	◇#1
		・みんなで1つの図書室にしたい。地いきの人や小さい子ともふれあえるから。	○#2-4
		・ちいきの人もいっしょに本をよめる。ともだちもできなかくなる。	○#2-4
		・地いきの人も一緒に読めるところがいい。	○#2-4
		・家族と本が読みたい。	○#2-5
		・みんなでよめて、赤ちゃんもよめていい。	○#2-4
		・みんなで仲良く本が読めると、自分が好きな本の紹介もできてよい。	○#2-5
		・中学生とよんで、オススメなども聞けていい。	○#2-5
		・中学生と会うことは少ないから	○#2-5
		・どんな人が本を読んでいるか分かる（オススメ）	○#2-5
		・むずかしい本が読むことができる。	○#2-5
		・親や子どもも使える図書館。（赤ちゃんを泣かせてしまったらダメかな。）	○#2-6
		・図書館など、魅力的な提案であると思う。	※5
		・図書館のイメージは良いので、村外からも来てくれるのではないか。	※6
		・北川村の子どもたちの特性について、大事にしたいと考えているのは図書館と考えている。友達や先生だけではなく、村内外の大人と学習を深めたり相談したりしながら探究的な学びを展開できる空間として、従来の図書館とは違う機能を持たせた空間を考えている。	※5
		・図書館をどういう整備にするのかは、村民にも実際に来ていただき、交流の場とするにはそれなりの図書が必要になるとを考えている。書籍としての図書をどう捉えるのか、時代に合わせ電子図書をどう捉えるのか、それにより図書館のあり方が変わってくる。	※5
		・手に取る子どもによっては変わると思う。場所について、自分たちが経験した図書館、図書室という場所ではなく、新しい図書館のあり方というのはキーワードになると思った。	※5
		・図書館もこれまでの図書館とは性質が変わってきていて、今までだと本を読む場所であったが、学びの中で授業の中で子どもたちがやってきて、司書の先生がアドバイスをするような学び、教育的な観点が重要であり、また土日曜日も利用できるような環境もどうだろうか。	※6
		・図書室に関しては、年長になると、遊びの中で気になったことを調べ物をする際にすぐに調べられる状況にするのが良いと感じているが、大きいライブラリーだとその機能が果たせることになっている。	※6
		・図書館については、村民全体の図書館として、調べたりパソコンをしたりなどいろんな機能を備えていくのは良いと感じている。	※6
		・学校の公民連携を考えていく際、現状の文科省の方針だけではなく、将来を見据えた観点で整備しないといけない。これから30年～50年のスパンで考えていくと、これからの教育がどのようにしていくのか、メディアドウの技術などをどう捉え反映していくのか、考えていくことが大切である。電子図書館と名前がついているが、これは情報を出版し発信する技術であり、これから北川学などの学習の中にそのような先端技術を取り込むことも検討しながら、将来を見据えた学校施設を考えていければと思う。その中の1つの手段として面白いと思ったのが、子供たちが自分たちでいつでも本を作って出版できるという可能性を秘めていること。図書館という場所は、本を読むだけではなくて本を作るところだと整理していくと面白いことができてくるだろうと思う。	※5
		・面積指標について、圧倒的に足りないという認識を持っており、検討する中で場所・コストなどいろんな問題も出てくると思う。そういう中で、手にとって読める書籍も平行して置くことも必要。みんな家で閉じこもって読むだけではなく、一緒にその辺で寝転がりながら読み、あるいは本を作るというような1つのラボのような場所にもなりうる可能性があり、それが新しい図書館のあり方となる。しかも、そこから発信して外につながっていく可能性もあり、北川村の子ども達だからこそ、図書館の使い方によって有効に働く可能性が広がるのではないかという印象をもった。	※5

(地域共用)	共用の課題	・赤ちゃんといっしょだと、泣き声がうるさくて集中できないからいやだ。	○#2-4
		・赤ちゃんの泣き声で、本が集中して読めないかも。	○#2-6
		・赤ちゃんが泣いたりしたら、落ち着いて本が読めない。	○#2-6
		・赤ちゃんが泣いたり、遊んだりしてほしいときとか、本がよめない。	○#2-6
		・落ち着いて読めない。×	○#2-6
		・赤ちゃんが泣いたら、集中できそうにない。	○#2-5
		・みんなで一つは集中できないかもしね。	○#2-5
		・みんなで本を読んだら、うるさくなりそう。	○#2-5
資料ギャラリー (学びの博物館)	イメージ	・北小にも展示室があると、勉強しやすい。	○#2-5
		・北川村情報をみたりできて、総合に使える	○#2-5
		・北川村の有名なところなどをしれるミュージアムがいい。	○#2-4
		・北川村のかんこう地を見れるミュージアムてきものがあるといい。	○#2-4
		・ゆずのてんじがいい。北川村は、ゆずがゆうめい。	○#2-4
		・ゆずのてんじがいい。北川だから。	○#2-4
		・山にある木の種類。	○#2-4
		・北川小学校ミュージアム → 北川小の歴史、北川村の歴史	○#2-5
		・中岡慎太ろうを典置(展示)したい。	○#2-5
		・お料理のてんじ室(高知県の!!)	○#2-5
		・星空や天体の展示をしてほしい。	○#2-6
		・アンパンマンも展示してほしい、(写真や本など)の	○#2-6
		・星空、ゆず、アンパンマン 展示してほしい。	○#2-6
		・プラネタリウム	○#2-6
情報発信	地域の魅力 発信	・情報発信をしてくれるところがあつてほしい。(PRとか、新聞など置いてあるところ)	○#2-6
		・PRしやすいし、見やすいからよい。	○#2-5
		・PRコーナーは便利で、北川を知つてもらえる。	○#2-5
		・新聞とかはつて、かんこう客にみてもらう	○#2-4
		・北川村のじょうほうはっしんできるところ。	○#2-4
		・学校の中に、はっしんする場所	○#2-5
		・子育てにはとても良い環境だと思うので、そこをもっとアピールして 人が集まつくるといいなと思う。	◇#1
		・村外の人にすぐ伝わる要素がいくつもある。	◇#1
		・中岡慎太郎・ゆず・モネの庭など	◇#1
		・村全体がとても広い!!その場所その場所で特徴がある。	◇#1
		・村の素晴らしいを沢山の人に知つてもらうツールがあまりない。	◇#1
		・ゆずジュースなど、村の特産を。	◇#2
		・村のお店から、おろしてもらう。	◇#2
		・子どもが案内できるように。	◇#2
		・子どもの作品(新聞など)を展示	◇#2
		・人と話に行く、人とつながる	◇#2
		・交流ひろばが一緒になったような人々が集まる場所	◇#2
		・交流拠点的なものを含む	◇#2
		・集落の情報発信基地(あるとよい)	◇#2
		・移住支援センター(あるとよい)	◇#2
		・雇用促進(あるとよい)	◇#2

7-5 屋内運動施設

アリーナ	使い方 イメージ	・体育館充実 バリアフリー 観客席 文化的・体育的 地域の方も使用	■ #2
		・休み時間に遊べる体育館がほしい。	■ #2
		・小学校の体育かんを作つて、やすみじかんにあそべるようにしてほしい。	■ #2
		・休み時間に卓球。	○#2
	しつらえ	・体育自習ルーム	○#2
		・観戦する場所 必要	○#2
		・体育館に低鉄棒がほしい	○#2
		・	
	設備	・体育館にエアコン	○#2
		・エアコンがあつたら、楽しくなると思う。	○#2
		・クーラーをつけてほしい。	○#2
		・クーラーを付ける。夏は暑いから。	○#2
		・でん気がすぐにつくようになつたら、体育が早くできて楽しいことができる。	○#2
		・ランニングマシーンがあつたら、たくさん走れる。	○#2
		・冷水機があつたら、すぐに水がのめる。	○#2
		・れいすいきがほしい・	○#2
		・コーラーやアクエリが出る冷水機を置く。冷水機がこわれているから。	○#2
		・	
	既存に対し	・広い、運動ができるから。	○#1
		・ひろい。	○#1
		・バレーボールができるから。体育が好きだから。	○#1
		・夏は暑い。冬は寒い。	○#1
		・風通しが悪い。日当たりが良い。部活終わりが暑い。	○#1
		・風通しが悪い。	○#1
		・雨の日にすべる。	○#1
		・飛び箱などいろいろな運動ができるから	○#1-6
		・いろんな運動道具があって、ふだん教室でできないこともできるから	○#1-6
		・体をいっぱい動かせるし、元気いっぱい遊ぶことができるから	○#1-6
		・ぼくは運動が好きで得意だから、前に出たりすることがあるから、活躍できていると思うから。	○#1-5
		・先生がすわるようないすがほしい。ベットがほしい。	○#2
		・汚い。暑い。窓が高くて開けられない。（体育館2階）	○#1
		・	
		・	
器具庫	保小中 しつらえ	・体育館の用具置き場を校種や使用目的に応じて、分けられるようにしてほしい。 部屋数を増やす or 広くして整理しやすくする	■ #2
		・器具庫に荷物が多い。（ごちゃごちゃしている）せまい。	○#1
指導員室	既存に対し	・小さい。足場がない。	○#1
更衣室	既存に対し	・男子更衣室のにおいがきらいだから。シャワー室のにおいか。	○#1
		・においがする。くさいから。	○#1
		・くさい	○#1
		・くさい	○#1
体を動かすことに関連する場所	イメージ	・運動できる場所（あるとよい）	◇#2
		・体を動かすちょっとした器具があればよい	◇#2
		・スポーツが少ない 部活動の選択肢が少ないとこと	◇#1
		・温水プール。高齢者の健康増進と子供たちの授業と併用	◇#2
		・いつでも遊べる、動ける場所がほしい。	○#2
		・体育館⇒好きなときに入れて、遊べるようにしてほしい！！	○#2
		・遊ぶ所がほしい	○#2
		・遊具をふやす。（シーソーなど）	○#2
		・サンドバック	○#2
		・ジム（ダイエットグッズ）	○#2
		・ジム（ダイエットグッズ）	○#2
		・トランポリンがほしいという意見がいいと思う。理由：下級生もトランポリンが好きそう。	○#2
		・床がトランポリン	○#2

●プール

中プール	既存に対し	・水かけ合いをしたりして遊ぶことができるから。 ・泳げて、楽しい。 ・みずがあるから。 ・汚い	<input type="radio"/> #1 <input type="radio"/> #1 <input type="radio"/> #1 <input type="radio"/> #1
中プール（トイレ）	既存に対し	・ものすごく、くさい	<input type="radio"/> #1
小プール	既存に対し	・夏になってプールがなかったら暑いし汗だくになるから。 ・みんなのしくえがおですること。 ・みんなでみずでっぽうやあたらしいおよびができるから。 ・みんなとクロールや平泳ぎをたくさん練習したから。 ・平泳ぎの練習ができるから ・平及びたうまくなれたから。 ・泳ぐことが楽しいし、好きだから ・みんな頑張っている姿が見えて、自分の泳ぎに生かされて楽しいから。	<input type="radio"/> -3 <input type="radio"/> #1-4 <input type="radio"/> #1-4 <input type="radio"/> #1-6 <input type="radio"/> #1-6 <input type="radio"/> #1-6 <input type="radio"/> #1-6 <input type="radio"/> #1-6
	しつらえ	・プールは泳げるしすくいれるから楽しいと思う。プールの幅を広くしてほしい。 ・泳ぐだけじゃ何か足りないので、スペリ台をつけてほしい。 ・ウォータースライダーをつくってほしい。もっと楽しくするために。 ・冬でもプールに入れるよう、温水プールをつくってほしい。室内プール。（温水シャワー） ・おんすいプールがほしい。（しつない、ゆずいり） ・室内に温水プールがほしい。かみなりの時にできない時におよぐ。 ・プールができるとざんねんだから。ゆづをいれる。 ・プールに浮き輪をおいてほしい。 ・プールのたからものがいっぱいになってほしい。しょうぶしあって楽しめるから。 ・具合が悪くなった時のために、仮みん室をつくってほしい。（ねるところ） ・水族館のように、魚をおいてほしい。	<input type="radio"/> -3 <input type="radio"/> #2 <input type="radio"/> #2

7-6 屋外学習/運動環境

幼保一体施設	外部・園庭	<ul style="list-style-type: none"> 建物については、学校施設内だけではなく、園庭や外の学びも重要であり、乳幼児にとって大切な遊具も検討してもらいたいと考えている。 土の違いを確かめながら遊ぶことも必要であり、大切にしているところ。一部芝生にするということはあり得るかもしれない。 	※6 ※7
教室に近い屋外環境	既存に対し	<ul style="list-style-type: none"> (南庭・桜の木の下) 学校の中のさくらで、とくにきれいだから。 (2年教室前) きゅう子がいるし、白い遊ぶやつがおきにいりだから。ありのすとか時々できているし、運動場よりちょっとすずしいから。 (運動場の入り口) 自然感があって自然の中にいる感じがして素敵だから。 	○#1-4 ○-2 ○-3
軒下空間 (運動場へ続く)	日陰空間のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 屋根がついているところ 外であそんだり、勉強したあと、すuzzめる。 外であそぶとき、つかれて休みときに、日かげで休むところがほしい あついとき、ガードしてくれるからいい。 ろうかをあるかずに、教室からグラウンドに行けるようにしたら、休みじかんめいいっぱいあそべるから。 すぐグラウンドにいける場所 すぐにグラウンドに行けてらく。わざわざかいだんのばらんくていい 	○#2-6 ○#2-5 ○#2-4 ○#2-4 ○#2-4 ○#2-5 ○#2-4
前庭・めだかの池	既存に対し	<ul style="list-style-type: none"> メダカがいっぱい、かわいくていやされるし、スイレンが冬か春とかにさいてきれいだから。 めだかをかんんさつできるのと、すいれんもさいてきれいだから。 めだかがいきいきとよよいでのいるからです。 メダカが気持ちよく泳いでいると自分の気持もよくなるから。 石のすいそうをガラスとかで、とうめいにしてほしい。 →とうめいにすると、メダカも見れるし、理科でもかんたんに実験できるから。 メダカの水をきれいにしてほしい。 →メダカの水がきたないかた、かえてあげた。 今だとえさのときぐらいたしかメダカがみえないで、とうめいのいれものがいい。 えさもやりたい。 	○#1-4 ○#1-4 ○#1-4 ○#1-4 ○#2 ○#2 ○#2
外教室	イメージ	<ul style="list-style-type: none"> しばふの広場や池をつくって虫たちのかんさつできるところがいい。 それをかざるところがほしい。 しばふの広場で理科の勉強ができるといい。 外でいろいろなかんさつをしたい。 生きもの広場 生きものが自由に過ごせる所 虫がいたら、よく観察できる。 いつでも虫や植物を見れる。 色々な植物や虫について、調べれるし、気分転かんになるから。 外で勉強できるかんきょうがほしい。 外でも勉強できる。勉強ですぐ使える。外での授業。青空教室 外で勉強できてロマンチック 観察したことを外で授業がてきて、ロマンチック 	○#2-4 ○#2-4 ○#2-6 ○#2-5 ○#2-6 ○#2-6 ○#2-6 ○#2-5 ○#2-4 ○#2-5 ○#2-5
畑	既存に対し	<ul style="list-style-type: none"> 畑をひろくしてほしい。たくさんそだてられるし、りかや生かつでたくさんできるから。 みんなでそだてるのたいけんができるから。 はたけがほしい。 	○#2 ○#2
生き物にふれられる場所	イメージ	<ul style="list-style-type: none"> ZOO、アクアルーム 魚かいたい。 4年生がうさぎを飼いたいという意見がいいと思う。 理由: 北川に動物を飼ってせわする事がないから。 うさぎなど、動物を飼ってみたい。理由: 動物の勉強がすぐできそう。飼い方を学べる 動物コーナーがほしい (学校でいやされたいから) 学校で動物をかうのは、いいと思う。 動物がほしい。 動物園 動物園のように、サルやゴリラなどおいてほしい。 動物園みたいにしてほしい 	○#2 ○#2 ○#2 ○#2 ○#2 ○#2 ○#2 ○#2 ○#2 ○#2
タイヤ遊び	既存に対し	<ul style="list-style-type: none"> 木のかげが気持ちいいから みんなであそべて楽しいし、タイヤ遊びはうんどうできるから。 	○#1-4 ○#1-4
吊り輪(遊具)	既存に対し	いっぱい遊べるし体力とかつれるし、いろんな技ができるようにしたいから。	○-3

なかよし広場	既存に対し	・いろんな木があるし、でかい石があつて山にいるみたいに感じるから。	○-3
		・もっと遊ぶ物を増やしたり、すべり台も大きさがちがうのがあったら楽しいと思う。	○-3
		・虫がいる。風が気持ちいい。石の卵があつて遊べる。(4名)	○-1
		・落ち着くから	○#1-4
		・みんなでよくかぞくごっこをしたりしていることと、虫とかがたくさんいるから。	○#1-4
		・理由は木と太陽がかさなってきれいだから。	○#1-4
		・ままごとができるようにしてほしい。	○#2
		・木の下にベンチをおいてほしい。力がいるから、力がこないようにしてほしい。	○#2
		・木のところにベンチを置いてほしい。力がこないようにしてほしい。 例えば、もみじの木の下。なぜなら、秋、すごくきれいでから。	○#2
		・うんていのかげでベンチをおいてくれるとゆっくりできる。風がきもちいい。おすすめ。	○#2
		・力がこないようにしてほしい。ベンチがほしい。	○#2
		・カがいて、かゆくてあそべないから、力をへらす木かなにかをつけてほしい。	○#2
		・広場のみぞをなくしてほしい。あぶないから。	○#2
		・みぞをくふうしてうめてほしい。	○#2
		・草がたくさん生えているから。	○#1
		・遊具がほしい。冷水機を直してほしい。雑草が多い。	○#1
		・ひまつをとばすといけないから、あくるるばんがほしい。	○#2
グラウンド	いろいろな運動環境イメージ・しつらえ	・ソフトボール	◇#1
		・みんなで遊べる道具が少ないので、外でも、バスケやテニスコートなどがほしい。	○#2
		・バスケットする場所(たいめん)	○#2
		・運動場の砂だけがをしたら、とてもいたいから、人工しばにしてほしい。砂だけだと、サッカーが少しにくいくらいから、人工しばにしてほしい。	○#2
		・サッカーコート(芝 人工芝にしてほしい)	○#2
		・今の土のグラウンドでは自由にラインが引きやすくて使い勝手が良いというところもあるので、もし子どもたちが芝生で遊んだりすることであれば、例えば中庭とかに芝生を敷くのはあるのかなと思っている。全面的に敷くというイメージはない。	※7
		・めいろをぐらうんどにつくれば、高・中・小、みんなでたのしめる。	○#2
	設備イメージ	・グラウンドはアスレチックを作つてほしい。→低学年にたのしんでもらえるから。	○#2
		・シーソーやのぼりぼう(プラスチック)きんとれ場をおいてほしい。	○#2
		・ぼうけんの森遊具	○#2
		・トランポリンがほしい。	○#2
		・ジップラインをグラウンドに行くまどから、体育会につなげると楽になる。	○#2
		・暑い時に休むことのできる場所がほしい。	○#2
		・水やお茶、ジュースを飲める所をもっと増やしてほしい。	○#2
	既存に対し	・超広くてボールでもいっぱい遊べる。 いろいろな遊具(タイヤ跳び、ジャングルジム)があつて楽しい。 虫がたくさんいる。一輪車の練習がしやすい。	○-1
		・いろいろ遊べて楽しいから。	○-2
		・好きなサッカーもできるし、スペースも広いから好きです。 ゴールとか広いから一番のお気に入りです。	○-3
		・サッカーが好きではほぼ毎日使った思い出がたくさんあるから。	○-3
		・ブランコが楽しい。遊具が多い。	○#1
		・運動場にトンネルがあったらみんなが遊べる。	○-3
		・遊具が大きくてトンネルとか高い遊具があったら楽しそう。 前の幼稚園でこんなので遊んだ時とっても楽しかったから。	○-3
		・運動場が広くて遊具がいっぱいあって、教室が広い学校。 すべり台や他のスポーツ、テニスとかができる場所がほしいです。	○-3
		・運動場にいろいろな遊び道具があつたら休み時間も楽しくなる。 例えば縄跳びや長縄跳び、卓球台。	○-3
		・みんなが楽しく遊んでいて明るい雰囲気で楽しいから。	○#1-6
		・みんなと一緒に仲良く遊ぶことができるから	○#1-6
		・みんなとの仲が深められたから。	○#1-6
		・みんなの笑っている声などを聞くことが楽しいから。	○#1-6
		・放課後にみんなと楽しくサッカーしたりしているから。	○#1-6
		・サッカーなどいろいろなスポーツができるから	○#1-6

●公園・遊び場（複合化の検討含む）

公園・遊び場	必要性	・遊び場	◇#1
		・公園がない！！！モネの庭は住民の公園ではない。 子どもたちが気軽に集まれる場所がない？	◇#1
		・安全安心な川あそびができるところが実は…ない。自然はあふれているのに。	◇#1
		・自然が多くて、安全な公園がない！！ 絶対欲しい！！	◇#1
		・自然の中で遊ぶ余裕 大人も子供も	◇#1
	使い方 イメージ	・公園 好きなときに遊べる動ける場所。好きなときに入れる、運動できる建物	◎#2
芝生の中庭	イメージ	・学校おわって遊べる。友達といっしょに	◇#2
		・公園に砂場があると、ありがたいと感じている。 内部というよりも外部の環境も大切にしてもらいたい。	※6
		・体験広場	◇#2
		・キャンプや料理もできる、お泊り体験の場	◇#2
		・星座観察	◇#2
		・キャンプ用品 コテージ	◇#2
		・まきわり 料理も自分たちでメニューきめる	◇#2
		・災害時の炊き出しの経験にもつながる。	◇#2
		・大人から知恵を学ぶ	◇#2
		・生きる力 つながりやたくましさをつちかう。	◇#2
		・技能を伝え、身に付けられる（縄結びなど）	◇#2
		・防災が学べる（サバイバルキャンプが出来る）	◇#2
		・川の遊び方、・山の遊び方、火たいたり（山の楽校）	◇#2
		・公園があればいい（総合公園的なもの）	◇#2
		・健康公園	◇#2
		・体験型公園 → 観光にできる	◇#2
		・子供が遊べる遊具	◇#2
		・芝生広場	◇#2
		・芝スキー	◇#2
		・「村ピアノ」置く	◇#2
		・学校の中に大きいツリーハウスほしい。	◎#2

北川村住民のみなさまへ

子どもを育む環境づくり アンケート実施のお願い

北川村では、教育委員会を中心に、未来を担う子どもをはぐくむため、どんな環境が必要なのかを、地域の方々みんなで考えていく活動として、地域や小・中学校の子どもたちのワークショップを実施し、検討をすすめております。

この検討は、保育所・小学校・中学校の建物の建て替えの可能性の検討に加え、保育や教育などの子育て環境のあり方はもちろん、大人を含めて有効活用でき、地域のみんなが日本に誇れる、北川村にしかない環境づくりを目指しております。

そこで、ワークショップに参加してくださる方々だけでなく、より多くの方々のご意見を頂きたく、アンケートを実施させて頂きます。このアンケートの回答は、可能であれば、ぜひ、ご家族みなさま、お一人おひとりで回答頂きたいと思います。回答結果は、第2回、第3回地域ワークショップで検討する保育所・学校に隣接する公共施設のあり方や、子どもたちを育むためのいきいきとした地域活動が生まれる地域拠点の計画に反映させてまいります。お忙しいところ、大変恐縮ですが、回答にご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

○アンケートは、子どもを育むための環境づくりの質問として、問1～問6で構成されています。回答時間は、5分程度ですので、お気軽にご回答ください。

○ご回答の方法は、「アンケート回答用紙」にご記入ください。

ご記入後は、同封している返信用封筒で、北川村教育委員会までご提出ください。
できるだけ多くの皆様のお声をお聞きしたいので、ご家族のみなさま、お一人おひとり、ご回答いただけするとありがたいです。

○ご回答期限は、令和3年10月8日(金)です。

○ご不明な点がございましたら、下記まで、お問い合わせください。

【問い合わせ先】 北川村教育委員会（担当 西岡・百々）

電話番号 0887-32-1223 FAX 番号 0887-32-1132

Eメール kyouiku@vill.kitagawa.lg.jp

子どもを育む環境づくり アンケート

●回答は、別紙の回答用紙に、お一人おひとり、ご記入ください。

問1 回答して下さる方の状況について、おたずねします。

問1-1 回答して下さる方の年代を教えてください。(回答用紙に番号を転記)

- | | |
|-------------|---------|
| ① 高校生以下 | ⑥ 50代 |
| ② 高校生～20代未満 | ⑦ 60代 |
| ③ 20代 | ⑧ 70代 |
| ④ 30代 | ⑨ 80代以上 |
| ⑤ 40代 | |

問1-2 お子さんの状況を教えてください。(回答用紙に番号を転記、複数回答可)

- ① 未就学(小学校入学前)の子どもがいる。
- ② 小学生の子どもがいる。
- ③ 中学生の子どもがいる。
- ④ 高校生の子どもがいる。
- ⑤ 高校生以下の子どもは、いない。

問2 文教施設のあり方検討の活動について、おたずねします。

問2-1 地域ワークショップや検討委員会などで検討が行われていることをご存知ですか？

(回答用紙に番号を転記)

- ① はい
- ② いいえ

問2-2 問2-1で、「①はい」を選択された方のみ

何でお知りになられたか、下記の選択肢から、お選びください。

(回答用紙に番号を転記、複数回答可)

- ① 第1回地域ワークショップに参加した
- ② 村からの広報やチラシ「みんなの学園」を考えよう！をみた
- ③ 村内放送
- ④ 村のホームページやSNSの発信
- ⑤ 参加された方などからきいた
- ⑥ 村民会館の展示をみた
- ⑦ 保育所・学校からきいた
- ⑧ その他 ※回答用紙()内にご記入ください。

※裏面につづく

問3 今後のワークショップにむけて、おたずねします。

問3-1これから、コロナ禍の状況をみつつ、地域ワークショップを実施予定ですが、参加してみたいと思われますか？(回答用紙に番号を転記)

- ① 参加したい
- ② 参加してみたいが、参加しにくい
- ③ 興味がない

問3-2 問3-1で、「②参加してみたいが、参加しにくい。」を選択された方のみ

その理由があれば、ご記入ください。(回答用紙に理由を記入)

問4 北川村の子どもたちが、のびのび育つために、学校や保育所のそばにあると良いものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。(回答用紙に番号を転記)

- ① 図書館
- ② 公園
- ③ スポーツ施設
- ④ 村の歴史、自然、名所、産業、観光、文化、特産品、活動等にふれられる情報拠点
- ⑤ 子どもが放課後集まれる場所
- ⑥ 子どもたちと村民がふれあえる場所
- ⑦ 子どもが多様な体験ができる場所
- ⑧ その他 ※回答用紙()内にご記入ください。

問5 北川村の子どもたちが、社会とつながった学びにいかせる場所として、また、大人たちも利用できる場所として、学校や保育所のそばにあるとよいと思うものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。(回答用紙に番号を転記)

- ① 図書館
- ② 公園
- ③ スポーツ施設
- ④ 村の歴史、自然、名所、産業、観光、文化、特産品、活動等にふれられる情報拠点
- ⑤ だれでも立ち寄れる場所(カフェなど)
- ⑥ 若者が集まれる場所
- ⑦ 地域活性化のための自主活動や、誰でも借りられるミニオフィス空間
- ⑧ 村外の人とふれあえる場所
- ⑨ その他 ※回答用紙()内にご記入ください。

問6 少子化、および、学校の少人数化に対して、村や地域が一丸となって、特に取り組んだら良いと思うことを、下記の選択肢から1つお選びください。(回答用紙に番号を転記)

- ① 子どもが、村の良さを知り、多くの体験や情報発信ができる環境をつくること
- ② 村を訪れる人を増やすこと
- ③ 定住者を増すため、住環境等への支援を行うこと
- ④ 若者のふれあい、出会いの場を支援すること
- ⑤ その他 ※回答用紙()内にご記入ください。

ご協力いただき、ありがとうございました。

子どもを育む環境づくり アンケート

集計結果、および、分析

先日、村内にて実施しましたアンケートの集計結果について、分析内容とともに、取りまとめ、ご報告させて頂きます。

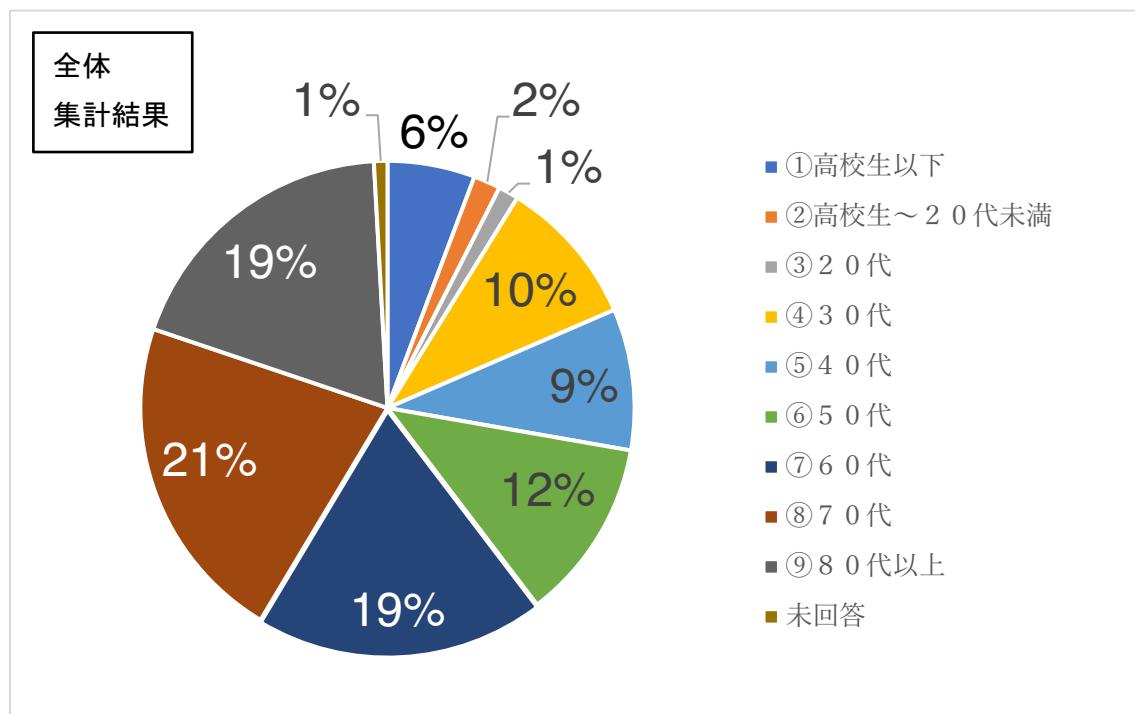
●実施期間 令和3年9月27日(月)～10月12日(火)

●回答総数 227名 住民約18% が回答 ($227/1230 = 0.1846$)

以下、設問ごとの結果をまとめます。

問1 回答して下さる方の状況について、おたずねします。

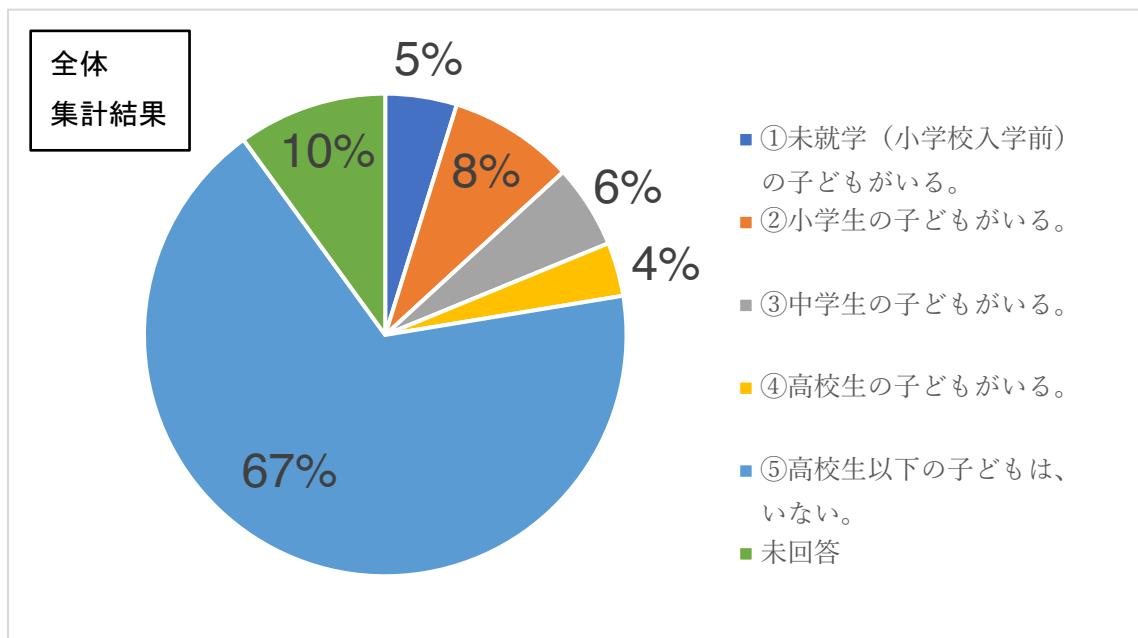
問1-1 回答して下さる方の年代を教えてください。



【問1-1 まとめ】

- ①～⑥50代以下の方が全体の40%。20代以下で9%の回答がみられた。
- 60代以上の方は、約60%と半数以上となった。

問 1-2 お子さんの状況を教えてください。



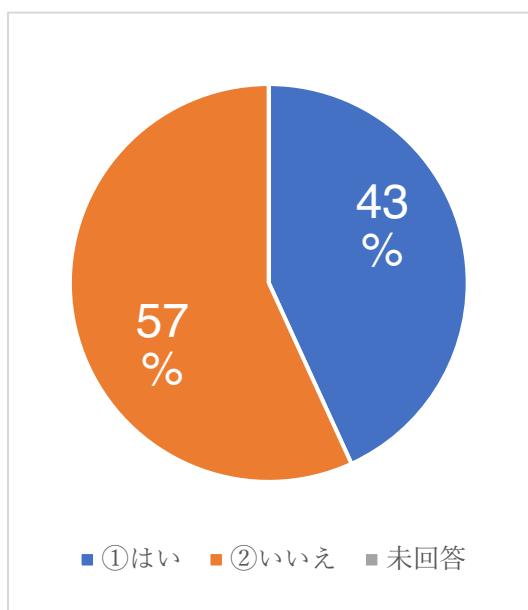
【問 1-2 まとめ】

- 複数回答した方もあるため、高校生以下の子どもがいると回答された方は全体の 14.5%。約 85%以上の方は高校生以下の子どもがいない方だった。
- また、小学生以下の子どもを持つ方は 13%。

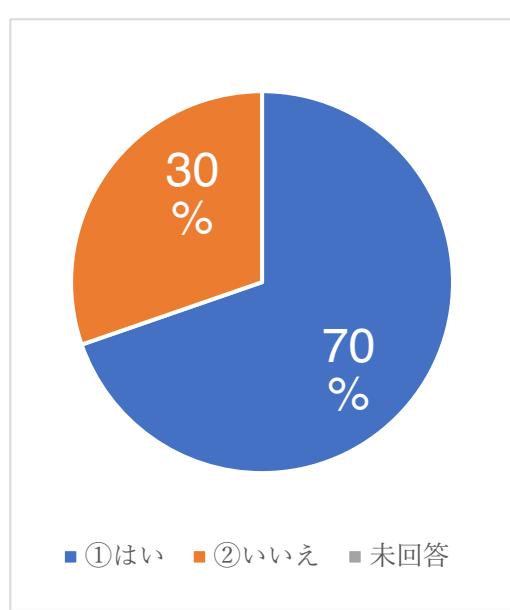
問2 文教施設のあり方検討の活動について、おたずねします。

問 2-1 地域ワークショップや検討委員会などで検討が行われていることをご存知ですか？

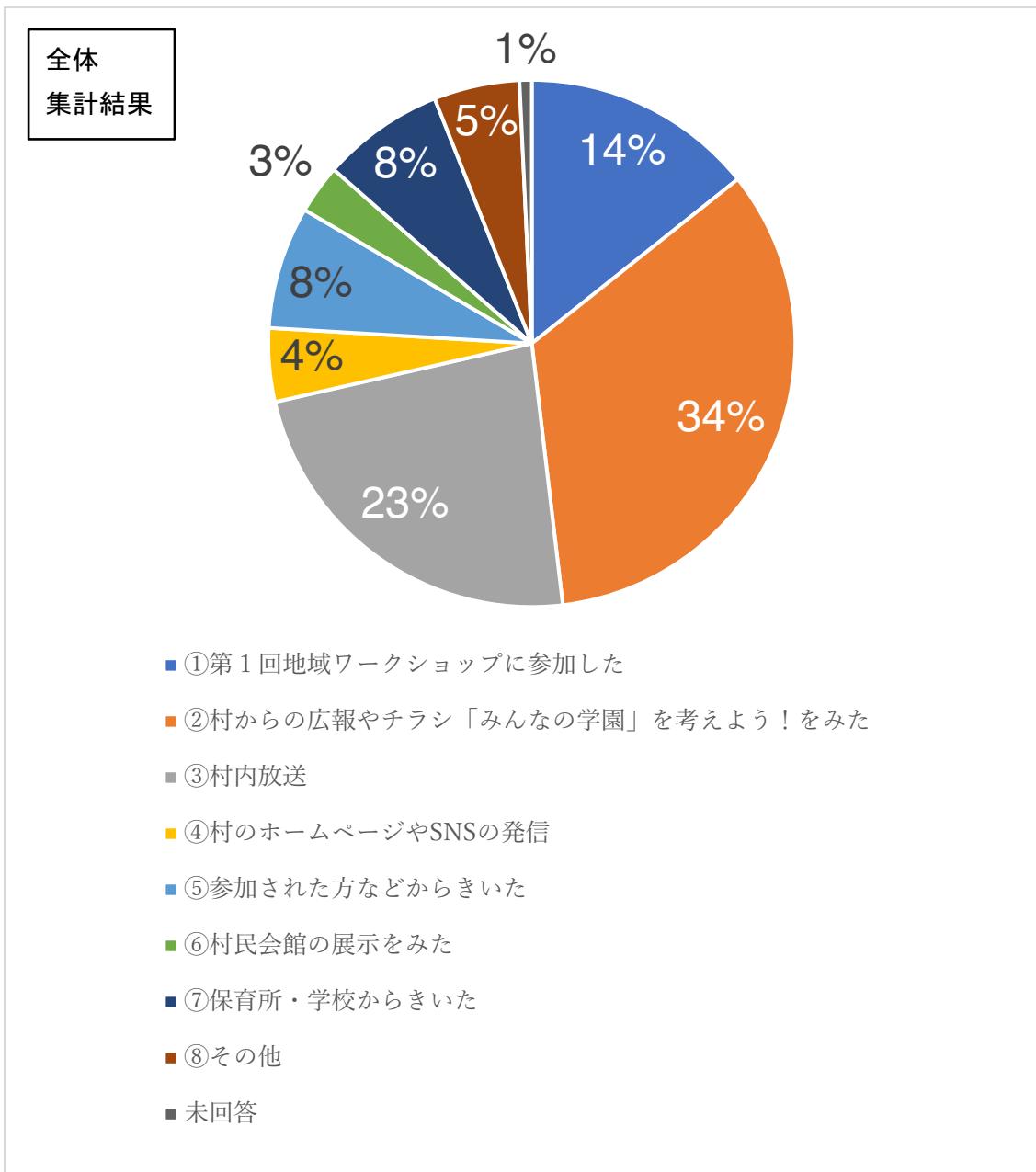
① 全体



②高校生以下の子どもがいる人



問 2-2 問 2-1 で、「①はい」を選択された方のみ
何でお知りになられたか、下記の選択肢から、お選びください。

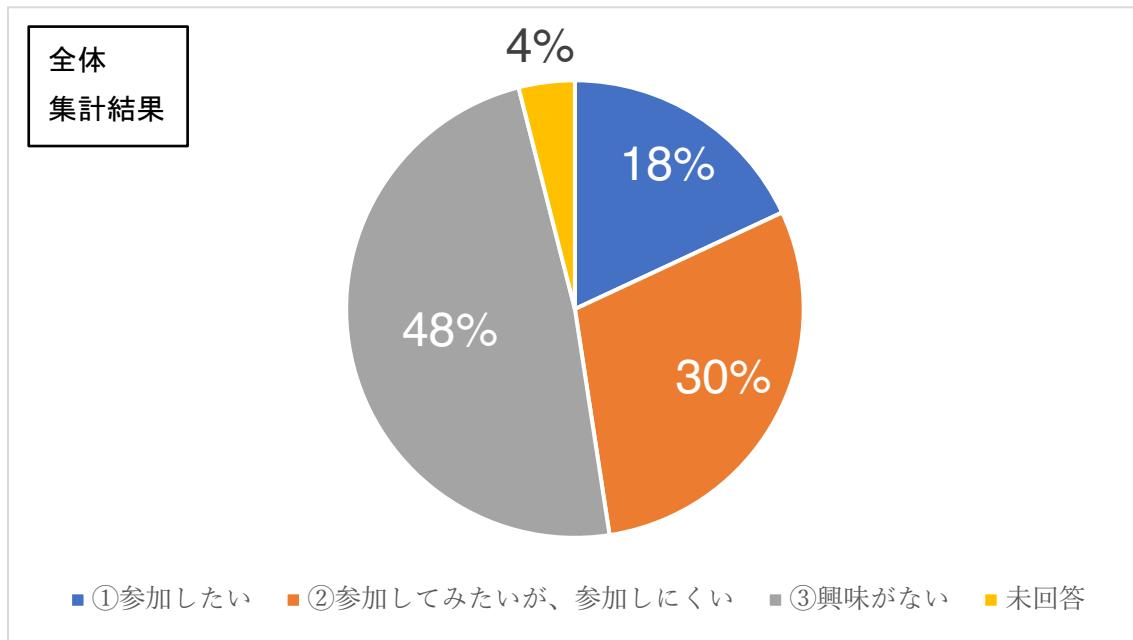


【問 2-1、問 2-2　まとめ】

- ・アンケートに回答された方の中で、文教施設のあり方検討が行われていることを知っている方は、全体の 40%以上。高校生以下の子どもをもつ方は 70% という状況だった。
- ・何で、検討活動を知ったか、については、ワークショップに参加された方と広報やチラシをみられた方を合わせると、50% 近い状況だった。
- ・アンケートに回答された方は、文教施設のあり方検討について、関心の高い方が、ご協力下さった状況と見受けられる。

問3 今後のワークショップにむけて、おたずねします。

問 3-1 これから、コロナ禍の状況をみつつ、地域ワークショップを実施予定ですが、
参加してみたいと思われますか？



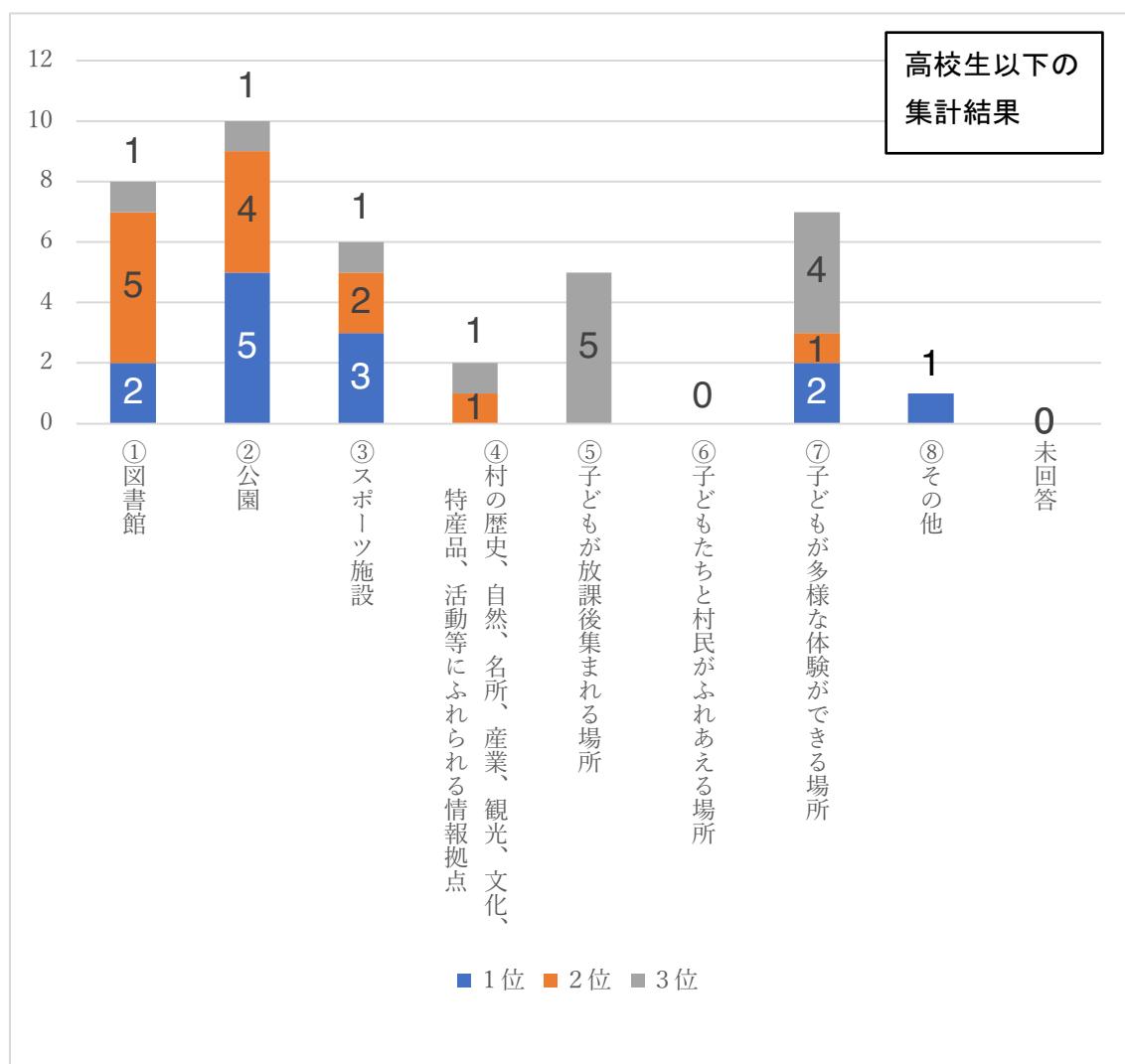
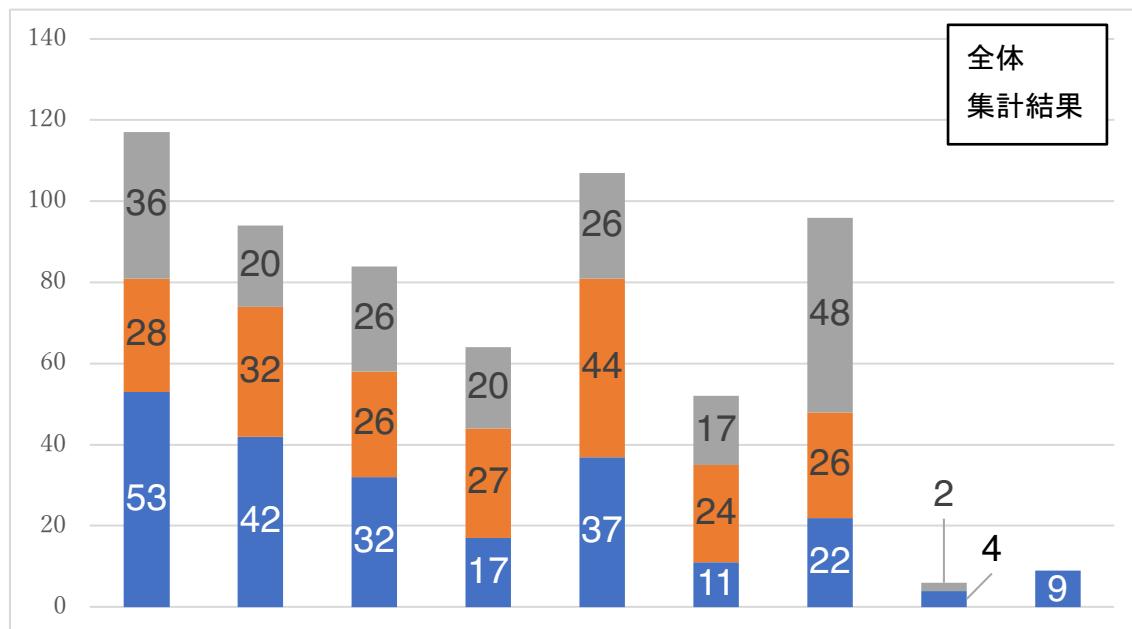
問 3-2 問 3-1 で、「②参加してみたいが、参加しにくい。」を選択された方のみ
その理由があれば、ご記入ください。

- ・時間がない。仕事で参加できない。夜家を出られない。(10名)
- ・子どもが小さいので。(2名)
- ・高齢だから。健康上の理由がある。身体が不自由。(12名)
- ・交通面の課題。車がない。遠方のため。夜の外出が不安。(6名)
- ・関心はあるけど親世代ではない。(2名)
- ・子どもがいないためイメージしづらい。意見を出しづらい。(3名)
- ・よく分からないから。ワークショップとは何か分からぬ。(3名)
- ・コロナが心配。
- ・村全体が元気になってほしい。他市町村より住みやすい村にしたい。
- ・活動を見守りたい。
- ・見聞きするのはよいが、参加は。
- ・意見を言っても採用されないとわかっているし、
学校を建てるところからズレて子育てに視点が合わないから。

【問3-1、問3-2 まとめ】

- ・半数近くの方が参加したい、参加してみたいと答えている。
- ・しかし、参加してみたいが、しにくい理由として、高齢の方は、身体上の理由や、交通面の課題、現状への理解がうすい等の理由が多くみられる。
また、子育て世代では、忙しいなどの時間的な理由や、子どもがいて参加しづらい、わからない等の理由がみられた。

問4 北川村の子どもたちが、のびのび育つために、学校や保育所のそばにあると良いものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。



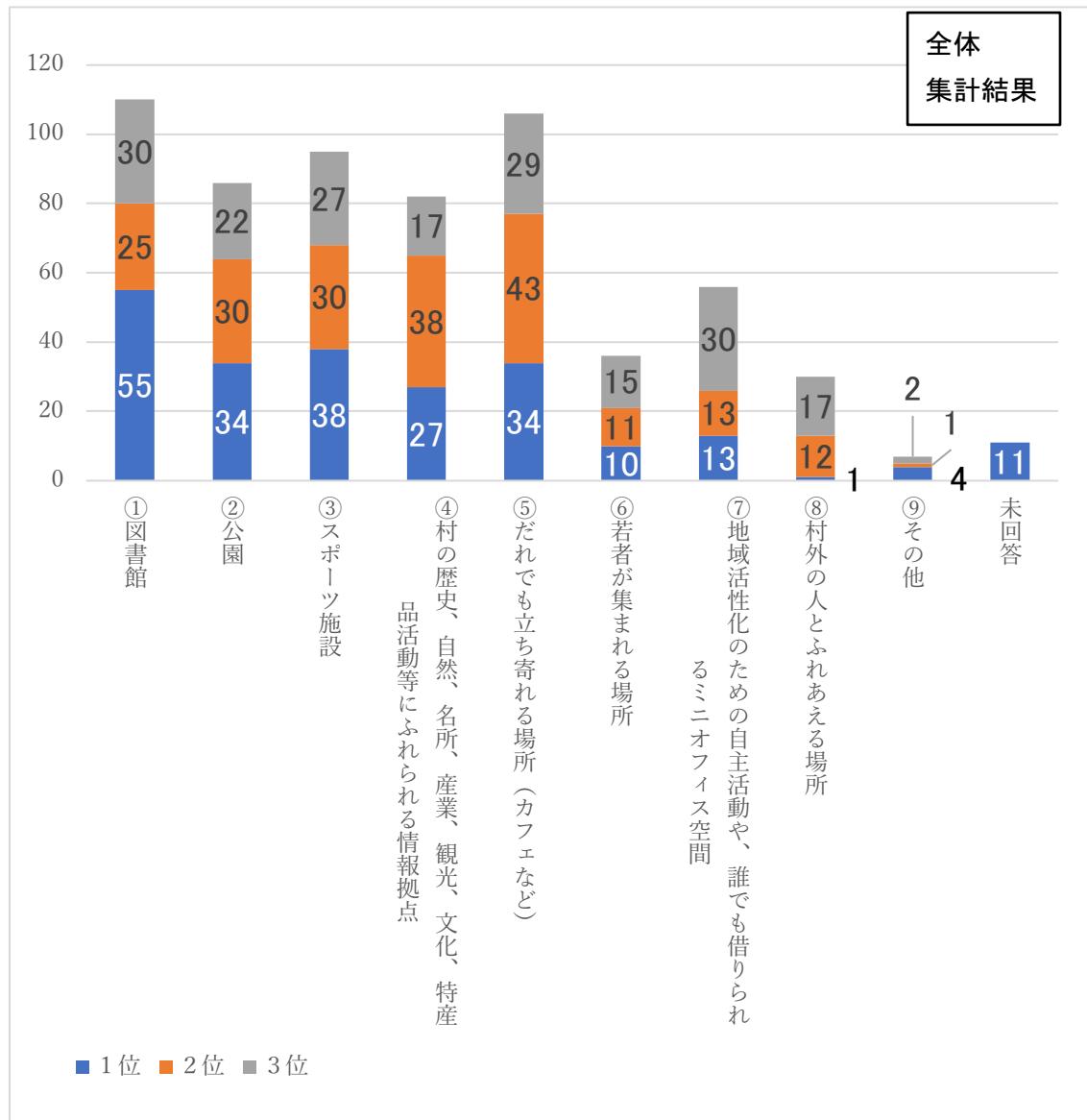
⑧その他のご意見

- ・コンビニ。
- ・公園の中に北川ミニを作る。
- ・それなりの施設が野友地区に集中してあるので、新しく作らなくても現在ある施設を十分活用しきる。先ず有る施設を十分に活かして使う工夫をすることが大事と思う。
- ・図書館やスポーツ施設、カフェ等あっても良いが無くてもかまわない。学校のそばにある必要もない。既存のもので十分であると思うが新たに作るという話であれば全く納得できる話ではない。
- ・この少子化の時代、新しい施設を作つて無駄な浪費をするよりも、他に考えるべきことがあるのではないかと思う。

【問4　まとめ】

- ・最も要望が多かったのは、「図書館」機能であり、1位のみでも、合計でも要望が非常に高い。
- ・1位のみでは、「図書館」に次ぎ、「公園」「こどもが放課後集まる場所」スポーツ施設となる。
- ・1位、2位、3位合計では、「こどもが放課後集まる場所」や「こどもが多様な体験ができる場所」の順位が上がる。
- ・興味深いのは、「高校生以下」のみの集計の場合、公園を希望する人が多く全体集計と比較し、傾向が異なる。特に「こどもが放課後集まる場所」は比較的順位が下る。
- ・また、その他の意見の中で、今ある施設を活かすべき、との意見や、学校のそばにある必要もない、といった意見がみられる。

問5 北川村の子どもたちが、社会とつながった学びにいかせる場所として、また、大人たちも利用できる場所として、学校や保育所のそばにあるとよいと思うものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。



⑨その他のご意見

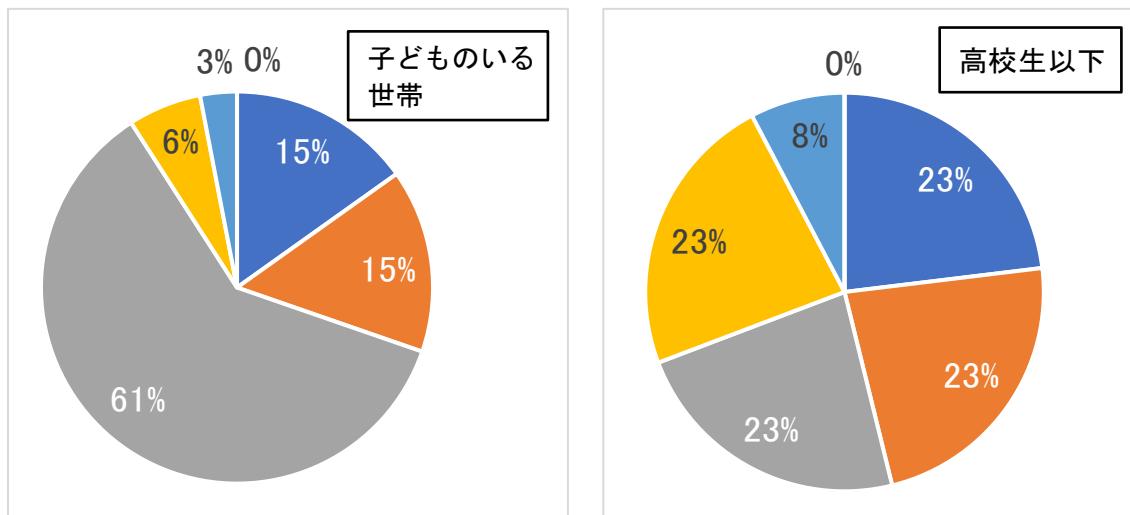
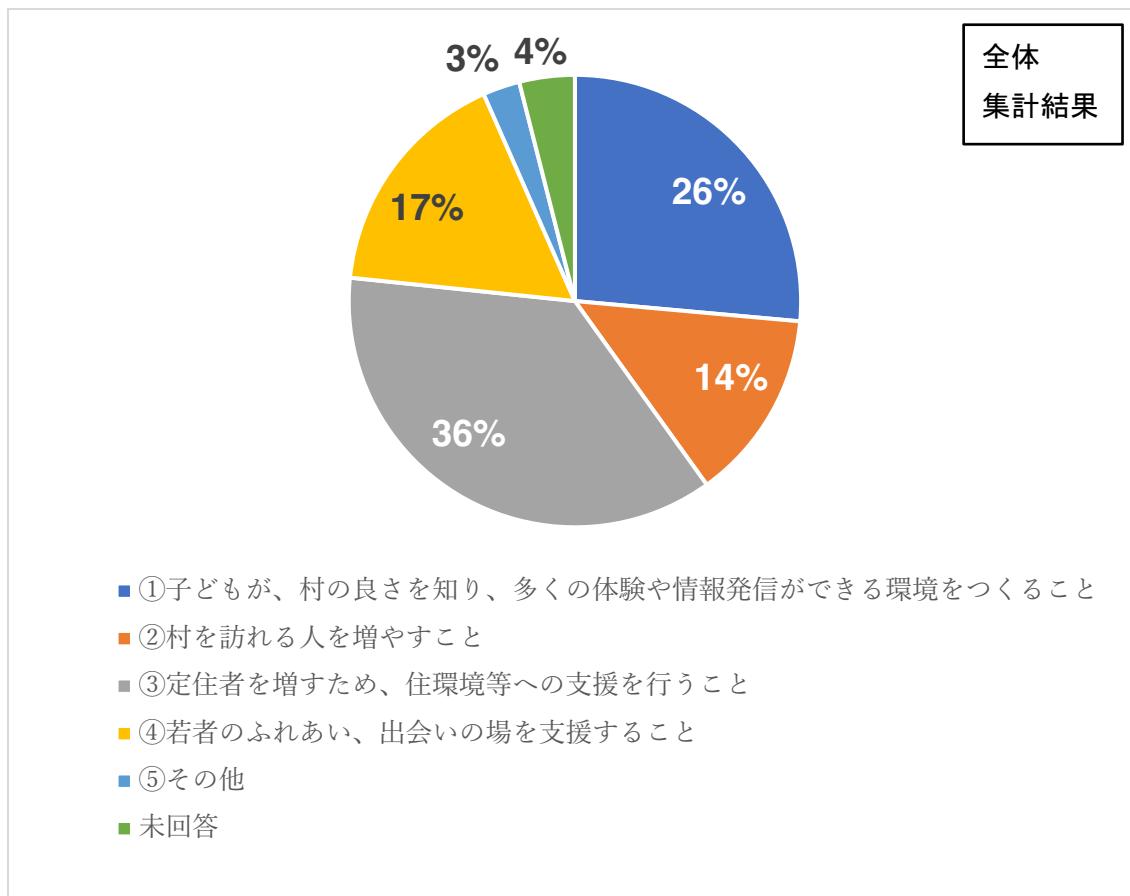
- ・コンビニ
- ・自由に参加できる塾
- ・プール
- ・図書と書籍販売とカフェを同一施設に。
企業や TSUTAYA などと合同で経営。
- ・その他

(問4と同意見として、既存施設の活用、必要性がない等の意見あり。)

【問5 まとめ】

- 最も要望が多かったのは「図書館」機能。それに次ぎ「だれでも立ち寄れる場所（カフェなど）」「スポーツ施設」の要望が高かった。また、この傾向はどの世代をみても、同様の傾向だった。
- 図書とカフェが選択肢にあったため、同一施設として運営への意見あり。

問6 少子化、および、学校の少人数化に対して、村や地域が一丸となって、特に取り組んだら良いと思うことを、下記の選択肢から1つお選びください。



⑤その他のご意見

- ・村の良さに加え、北川村にないものを多く示すことが大切。
- ・子どもに意見を持たせることをした方が良いと思う。自主性を育む。
- ・保小中同じ敷地内にあると便利。
- ・今回のアンケート内容とは関係ないが、世の中にはどんな職業があるか等を知るチャンスを与えてやってほしい。
(専門分野の方々を迎えて話を聞く等)
- ・起業などへの支援。
- ・産業・雇用の創出。
- ・昨今の社会では難しい。
- ・1つ選んで重点的に取り組んで済む問題ではない。

【問6　まとめ】

- ・少子化や、学校の少人数化に対して取り組むべき課題として、全体的にみて1/3以上の人が「定住者を増やすため、住環境等への支援を行うこと」を選んでいる。さらには、子どものいる世帯では、この選択肢が60%を越える子育て世代として、少子化対策が望まれていることが顕著な結果となった。
- ・また、高校生以下の世代で「若者のふれあい、出会いの場を支援すること」が、多世代と比較し、極めて多く、若者のみで集まれる場所を求めている結果が見受けられる。
- ・加えて、高校生以下の世代では、「若者のふれあい、出会いの場を支援すること」と同率で、「子どもが、村の良さを知り、多くの体験や情報発信ができる環境をつくること」「村を訪れる人を増やすこと」の選択肢が並んでいる。
- ・さらに、その他の意見では、職業に対する多様性を伝える機会への要望や、産業、雇用への意見もみられた。

■前提条件

PFI方式試算例		従来型手法	採用手法の条件	採用手法	前提条件の入力方法
手法		従来型手法		①BTO・BOT・BOO・RO	採用手法(「①BTO・BOT・BOO・RO」、「②DBO」、「③BT」、「④指定管理者制度」)から選択して下さい。DB方式は「③BT」を選択して下さい。包括的民間委託、公共施設等運営権方式は「④指定管理者制度」を選択して下さい。(BOT・BOOは固定資産税等は考慮されていません。)
事業期間	整備期間	2年	従来手法=採用手法	2年	1年間に設定してあります(変更できません)。
	維持管理・運営期間	15年	従来手法=採用手法	15年	1~50年間から選択して下さい。「③BT」を選択した場合には起債償還期間と想定して選択してください。
	整備費	2,669,195	10%削減	2,402,276	従来型手法の整備費と、採用手法におけるコスト削減割合(%)を記入して下さい。
費用・収入	維持管理・運営費 (1年当たり)	人件費 (運営維持管理費)	5,126/年	10%削減	4,613/年 従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合(%)を記入して下さい。
		ユーティリティー費		10%削減	0/年 従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合(%)を記入して下さい。
		修繕費	35,000/年	10%削減	31,500/年 従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合(%)を記入して下さい。
		合計	40,126/年	10%削減	36,113/年 人件費、ユーティリティー費、修繕費から自動計算されます。人件費、ユーティリティー費、修繕費を0にして合計欄のみの入力とすることも可能です。
	利用料金収入(1年当たり)			0/年	従来型手法の利用料金収入と、採用手法における収入増加割合(%)を記入して下さい。
資金面の内容	現在価値への割引率	0.2%	従来手法=採用手法	0.2%	現在価値への割引率を記入して下さい。(標準は2.3%になります。)
整備費に対する補助金・交付金の割合					
	整備費に対する起債の割合	整備費の40%		整備費の40%	整備費に対する補助金・交付金の割合(%)を記入して下さい。
	整備費に対する一般財源の割合	整備費の50%		整備費の50%	整備費に対する起債の割合(%)を記入して下さい。
	整備費に対する民間資金の割合	整備費の10%		整備費の10%	整備費に対する一般財源の割合(%)を記入して下さい。
	小計	—		整備費の0%	「100%-(補助金・交付金の割合+起債の割合+一般財源の割合)」が自動計算。BT・DB、DBOでは0%。
整備費に対する資金調達の内容					
	補助金・交付金の金額	1,067,678		960,910	整備費の資金調達について、補助金・交付金の額が自動計算されます。
	起債金額	1,334,598		1,201,138	整備費の資金調達について、起債の額が自動計算されます。
	一般財源の金額	266,920		240,228	整備費の資金調達について、一般財源の額が自動計算されます。
	起債金利	0.1%	従来手法=採用手法	0.1%	起債金利を%で入力して下さい。
	起債償還期間	15年	従来手法=採用手法	15年	維持管理・運営期間になります。
	起債償還方法	元利均等	従来手法=採用手法	元利均等	期限一括、元利均等、元金均等から選択して下さい。
整備費に対する公共側の資金調達					
	資本金額	—		25,000	SPCIに必要な資本金額を記入して下さい。(標準は10百万円)
	借入金額	—		0	「民間資金の金額-資本金額」が自動計算。借入金額は整備費から資本金を減じた金額と仮定。
	借入金利	—		0.5%	民間事業者の借入金利を入力して下さい。
	民間事業者の借入期間	—		15年	維持管理・運営期間になります。
採用手法における整備費の資金調達					
	割賦金利	—		0.5%	公共が民間事業者に支払う整備費の対価の割賦金利は借入金利と同じと仮定。
	割賦期間	—		15年	公共が民間事業者に支払う整備費の対価の割賦払いは維持管理・運営期間と同じと仮定
	法人税等	—		33.60%	実効税率は29.97%を入力してあります。
	調査等費用	—		20,000	調査等費用を記入して下さい。(標準をPFI,DBOで35,000千円、DBで25,000円としています。)
採用手法の内容					
	採用手法における対価の調整	—		3,439/年	採用手法における対価の調整額で、民間事業者のEIRRに必要な収益相当額が自動計算されます。
	民間事業者のEIRR(※)	—		5.0%	民間事業者の収益(資本金に対する配当等の利回り)を記入して下さい。(標準は5%になります。)
採用手法の民間事業者の収益					

■前提条件

PFI方式試算例		従来型手法	採用手法の条件	採用手法	前提条件の入力方法
手法		従来型手法		②DBO	採用手法(「①BTO・BOT・BOO・RO」、「②DBO」、「③BT」、「④指定管理者制度」)から選択して下さい。DB方式は「③BT」を選択して下さい。包括的民間委託、公共施設等運営権方式は「④指定管理者制度」を選択して下さい。(BOT・BOOは固定資産税等は考慮されていません。)
事業期間	整備期間	2年	従来手法=採用手法	2年	1年間に設定してあります(変更できません)。
	維持管理・運営期間	15年	従来手法=採用手法	15年	1~50年間から選択して下さい。「③BT」を選択した場合には起債償還期間と想定して選択してください。
整備費	2,669,195	10%削減	2,402,276	従来型手法の整備費と、採用手法におけるコスト削減割合(%)を記入して下さい。	
維持管理・運営費 (1年当たり)	人件費 (運営維持管理費)	5,126/年	10%削減	4,613/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合(%)を記入して下さい。
	ユーティリティー費		10%削減	0/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合(%)を記入して下さい。
	修繕費	35,000/年	10%削減	31,500/年	従来型手法の維持管理・運営費と、採用手法におけるコスト削減割合(%)を記入して下さい。
	合計	40,126/年	10%削減	36,113/年	人件費、ユーティリティ費、修繕費から自動計算されます。人件費、ユーティリティ費、修繕費を0にして合計欄のみの入力することも可能です。
費用・収入	利用料金収入(1年当たり)			0/年	従来型手法の利用料金収入と、採用手法における収入増加割合(%)を記入して下さい。
現状価値への割引率	0.2%	従来手法=採用手法	0.2%	現在価値への割引率を記入して下さい。(標準は2.3%になります。)	
資金面の内容					
整備費に対する補助金・交付金の割合	整備費の40%		整備費の40%	整備費に対する補助金・交付金の割合(%)を記入して下さい。	
整備費に対する起債の割合	整備費の50%		整備費の50%	整備費に対する起債の割合(%)を記入して下さい。	
整備費に対する一般財源の割合	整備費の10%		整備費の10%	整備費に対する一般財源の割合(%)を記入して下さい。	
整備費に対する民間資金の割合	—		整備費の0%	「100%-(補助金・交付金の割合+起債の割合+一般財源の割合)」が自動計算。BT・DB、DBOでは0%。	
小計	100%		100%	小計が100%になることを確認して下さい。	
整備費に対する資金調達の内容					
補助金・交付金の金額	1,067,678		960,910	整備費の資金調達について、補助金・交付金の額が自動計算されます。	
起債金額	1,334,598		1,201,138	整備費の資金調達について、起債の額が自動計算されます。	
一般財源の金額	266,920		240,228	整備費の資金調達について、一般財源の額が自動計算されます。	
起債金利	0.1%	従来手法=採用手法	0.1%	起債金利を%で入力して下さい。	
起債償還期間	15年	従来手法=採用手法	15年	維持管理・運営期間になります。	
起債償還方法	元利均等	従来手法=採用手法	元利均等	期限一括、元利均等、元金均等から選択して下さい。	
整備費に対する公共側の資金調達					
資本金額	—		25,000	SPCに必要な資本金額を記入して下さい。(標準は10百万円)	
借入金額				「民間資金の金額-資本金額」が自動計算。借入金額は整備費から資本金を減じた金額と仮定。	
借入金利				民間事業者の借入金利を入力して下さい。	
民間事業者の借入期間				維持管理・運営期間になります。	
採用手法における整備費の資金調達					
割賦金利				公共が民間事業者に支払う整備費の対価の割賦金利は借入金利と同じと仮定。	
割賦期間				公共が民間事業者に支払う整備費の対価の割賦払いは維持管理・運営期間と同じと仮定	
法人税等	—		33.60%	実効税率は29.97%を入力してあります。	
調査等費用	—		20,000	調査等費用を記入して下さい。(標準をPFI,DBOで35,000千円、DBで25,000円としています。)	
採用手法の内容					
採用手法における対価の調整	—		3,439/年	採用手法における対価の調整額で、民間事業者のEIRRに必要な収益相当額が自動計算されます。	
民間事業者のEIRR(※)	—		5.0%	民間事業者の収益(資本金に対する配当等の利回り)を記入して下さい。(標準は5%になります。)	
採用手法の民間事業者の収益					